

外国語セミナー指導案集



2019/11/23 (土)

1 年 生	<p>収穫祭を彩る色紙をもらうために、友だちとおいも（さつまいも）の数を伝え合おう (How many?)</p> <p>* 3学級が1単位時間ずつ授業進度をずらして行います。15分の展開の違いや授業テンポ、活動を楽しんでいる様子などに注目して覧下さい。</p>
2 年 生	<p>1年生とシルエットクイズをして仲良くなろう (What's this?)</p> <p>* 3学級が1単位時間ずつ授業進度をずらして行います。15分の展開の違いや授業テンポ、1年生という相手を意識した様子などに注目してご覧下さい。</p>
3 年 生	<p>おうちの人に歌声発表会の招待状をつくってわたそう (Unit7 This is for you.)</p> <p>* 子ども達が必然性・リアル感・楽しさ・相手意識を持つことができるような単元の課題に出会う場面をメイン授業で、その後の流れをモジュール授業で行います。単元との出会わせ方、その後の活動との繋がりをご覧下さい。</p>
4 年 生	<p>給食の『カレーライス』をプロデュースして、全校に喜んでもらおう (Unit7 What do you want?)</p> <p>* 自分のオリジナルメニューは喜んでもらえるのかを確かめるという、必然性を持ち、相手の反応を見ながらやりとりする様子をメイン授業で、モジュール授業ではそこに至るまでの流れや特別活動（他教科）との関連をご覧下さい。</p>
5 年 生	<p>最高学年に向けて、附属小学校のことをもっと知ろう【先生編】 (Unit5 She can run fast. He can jump high.)</p> <p>* 子ども達が聞き取った先生の「すごいところ」を「伝えたい」というリアルな思いを実現するために、必要な表現を学ぼうとする姿をメイン授業で、その前後の流れをモジュール授業でご覧下さい。</p>
6 年 生	<p>今思い描く将来の夢を、『思い出DVD』に残そう (Unit8 What do you want to be.)</p> <p>* 学級の個性溢れるDVDのチャプターを作るために、友だちの夢や理由など様々な情報について必然性をもって聞こうとする姿や既習表現を引き出していけるように Small Talk と活動の繋がりを意識した展開をメイン授業で、そこに至るまでの流れをモジュール授業でご覧下さい。</p>

外国語活動学習指導案

学習者	附属小学校1年1組	35名
指導者	田口 美樹	(2/3 モ③)
学習者	附属小学校1年2組	35名
指導者	小野 晃寛	(3/3 モ①)
学習者	附属小学校1年3組	35名
指導者	眞田 貴弘	(2/3 モ②)

単元名 収穫祭を彩るために、友だちにおいもの数を伝えて色紙をもらおう

1. 単元目標

- 日本語と外国語の20までの数の言い方が違うことに気づく。 (言語や文化に関する気づき)
- 20までの数の英語表現に慣れ親しむ。 (外国語への慣れ親しみ)
- 数を予想したり数えたりして、クラスの友だちに伝えたり、聞き取ったりする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

2. 単元について

必然性	「おいも収穫祭」を彩る色紙をもらうために、ゲームでとったおいもの数をお店役の友だちに伝える
リアル感	予想したおいもの数と、とったおいもの数をお店役の人に伝えるためのキーセンテンスとコミュニケーション
楽しさ	おいもの数を予想し、「ぴったり賞」がもらえるか数える楽しさ おいもの数によってももらえる色紙の大きさ(小・中・大・特大)が決まる楽しさ。 他のクラスの友だちと交流する楽しさ
相手意識	お客役として、ゲームの結果を尊重しようとする意識

3. 言語材料 (下線は新出表現)

- How many?
eleven, twelve, thirteen, fourteen, fifteen, sixteen, eighteen, nineteen, twenty

[既出] one, two, three, four, five, six, seven, nine, ten

[期待する既習表現] Hello. See you. Thank you.

4. 単元計画 (3時間)

時	本時のねらい (◆) と主な活動 (○)	◎評価の観点 (評価規準) <方法>
1	◆数を表す英語表現について、歌を歌ったり、ゲームをしたりすることにより、慣れ親しむ。	
モ①	<p>○Classroom English Song</p> <p>○単元を通した目標について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>収穫祭を彩るために、友だちにおいもの数を伝えて色紙をもらおう</p> </div> <p>○収穫祭に向けて、おいもの飾りを完成させることを知る。</p> <p>○お芋ほりゲームのデモンストレーションを見て、いくつとれたか予想する。10より大きい数の表現に出会い、活動の見通しをもつ。</p> <p>○お芋ほりゲームのやり取りの中から、必要な表現を見つけ出し、活動の見通しをもつ。</p>	
モ②	<p>○Classroom English Song</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>20までの数のえいごのいいかたになれよう</p> </div> <p>○let's count from 11 to 20: 歌に合わせ、数を表す英語表現に慣れる。</p> <p>○HRT の後に続いて数の言い方を発話し、数の言い方を練習する。</p> <p>(eleven, twelve, thirteen, fourteen, fifteen, sixteen, eighteen, nineteen, twenty)</p> <p>○Key Ward game: HRT の発する英語表現 (11~15) を聞いたり、後につけて言ったりしながら、数を表す言葉の英語表現に慣れ親しむ。</p>	
モ③	<p>○Classroom English Song</p> <p>○let's count from 11 to 20: 歌に合わせ、数を表す英語表現に慣れる。</p> <p>○HRT の後に続いて数の言い方を発話し、数の言い方を練習する。</p> <p>(eleven, twelve, thirteen, fourteen, fifteen, sixteen, eighteen, nineteen, twenty)</p> <p>○Key Ward game: HRT の発する英語表現 (16~20) を聞いたり、後につけて言ったりしながら、数を表す言葉の英語表現に慣れ親しむ。</p> <p>○振り返りをする。</p>	<p>◎ (外国語への慣れ親しみ)</p> <p>数を表す英語表現について、慣れ親しんでいる。</p> <p><行動観察・振り返りカード></p>

2	<p>◆数を尋ねたり、数えたりする英語表現について、やりとりのなかで繰り返し発話することを通して、慣れ親しむ。</p> <p>○Classroom English Song ○♪let's count from 11 to 20 ○本時のめあてについて知る。</p> <p>おいもほりゲームをしよう</p> <p>○HRT の後につけて会話の基本となる文の英語表現を発話し、おおよその会話の流れをつかむ。</p> <p>① A:How many? B:One sweet potato. (単数) /Two sweet potatoes. (複)</p> <p>○単数の場合と複数の場合の言い方の違いを知る。 ○HRT の「How many?」の問いに答えることを繰り返して、発話の練習をする。</p>	
モ②	<p>○Classroom English Song ○♪let's count from 11 to 20 ○HRT とボランティア児童とのやりとりを見て、活動の流れを確かめる。</p> <p>A:How many? (予想した数を尋ねる) B:One sweet potato. (単数) /Two sweet potatoes. (複数) A:Go! (いもほりをする) B:How many? (釣り上げた数を尋ねる) AB:1, 2, 3, 4... (一緒に数える) A:□□□ sweet potato. /□□□sweet potatoes. B:Yeah!/Oh no!</p> <p>○HRT の後につけて会話の基本となる文の英語表現を発話し、おおよその会話の流れをつかむ。 ○お店屋さん、お客さんの役に分かれて、班ごとにおいもほりゲームをし、数を尋ねたり数えたりする英語表現に慣れ親しむ。 ○はっきりと発話しにくい英語表現を聞き、発話の練習をする。</p>	<p>A:数を尋ね、数える人 (お店屋さん) B:数を予想し、当てる人 (お客さん)</p>
本時モ③	<p>○Classroom English Song ○♪let's count from 11 to 20 ○HRT とボランティア児童とのやりとりを見て、活動の流れを確かめる。 ○HRT の後につけて会話の基本となる文の英語表現を発話し、おおよその会話の流れをつかむ。 ○お店屋さん、お客さんの役に分かれて、班でおいもほりゲームをし、数を尋ねたり数えたりする英語表現に慣れ親しむ。 ○振り返りをする。</p>	<p>◎ (外国語への慣れ親しみ) 予想した数を尋ねたり数えたりする英語表現について、慣れ親しんでいる。 (行動観察・振り返りカード)</p>

3	<p>◆予想した数を尋ねたり、数えたりする英語表現について、やりとりしながら何度も繰り返し発話することを通して、聞き手に届く声の大きさを尋ねたり、数えたりしようとする。</p> <p>○Classroom English Song ○♪let's count from 11 to 20 ○本時のめあてについて知る。</p> <p>おいもほりゲームをして、色紙をあつめよう</p> <p>○HRT とボランティア児童とのやりとりを見て、活動の流れを確かめる。</p> <p>A:How many? (予想した数を尋ねる) B:○ sweet potatoes. (○は数) A:Go! (いもほりをする) B:How many? (釣り上げた数を尋ねる) AB:1, 2, 3, 4... (一緒に数える) A:○ sweet potatoes. (○は数) B:Yeah!/Close!</p> <p>○HRT の後につけて会話の基本となる文の英語表現を発話し、おおよその会話の流れをつかむ。 ○各班ごとに、お店屋さんとお客さんの役に分かれて、お客さん役の子が学級の中を歩き回り、お芋ほりゲームに挑戦して色紙をもらう。 ○聞き手に届く声の大きさを話すことを確かめる。</p> <p>班ごとに、2つのグループ(A, B)に分かれ、お店屋さんとお客さん役を1日交代で実施する。 Aチームは教室に残りお店屋さんをし、Bチームは立クラスへ移動し、お芋ほりゲームに挑戦する。</p> <p>○Classroom English Song ○♪let's count from 11 to 20 ○聞き手に届く声の大きさを話すことを確かめる ○HRT の後につけて会話の基本となる文の英語表現を発話し、おおよその会話の流れをつかむ。 ○Good Point を出させ、やりとりを再現し、称賛する。</p> <p>班ごとに、2つのグループ(A, B)に分かれ、お店屋さんとお客さん役を1日交代で実施する。 Bチームは教室に残りお店屋さんをし、Aチームは立クラスへ移動し、お芋ほりゲームに挑戦する。</p> <p>○Classroom English Song ○♪let's count from 11 to 20 ○聞き手に届く声の大きさを話すことを確かめる ○HRT の後につけて会話の基本となる文の英語表現を発話し、おおよその会話の流れをつかむ。 ○Good Point を出させ、やりとりを再現し、称賛する。 ○振り返りをする。</p>	<p>A:数を尋ね、数える人 (お店屋さん) B:数を予想し、当てる人 (お客さん)</p> <p>◎ (コミュニケーションへの関心・意欲・態度) 予想した数を尋ねたり、数えたりする英語表現について、聞き手に届く声の大きさを質問したり、答えたりしている。 (行動観察・振り返りカード)</p>
モ①		
モ②		
モ③		

5. 本時の指導 (授業者 田口 美樹 , 眞田 貴弘)

単元名	収穫祭を彩るために、友だちにおいもの数を伝えて色紙をもらおう	2/3時間	モジュール②, ③
本時のねらい	11~20 までの英語表現について、数を予想したり友達と一緒に繰り返し数えたりする活動を通して、慣れ親しむ。		
準備	お芋ほりゲームセット (教師用, 児童用) 掲示用キーセンテンス 掲示用数カード (11~20)		
(評価規準)	数を尋ねたり数えたりする英語表現について慣れ親しんでいる。(外国語への慣れ親しみ)		

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価 (方法)	準備物
2分	<p>Greetings</p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p>Warming up</p> <p>○Classroom English Song</p> <p>○♪let's count from 11 to 20</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習内容である曜日も尋ねる。 ・ジェスチャーを交えて歌うようにする。 	
2分	<p>Activities</p> <p>本時のめあてと活動を確認する。</p> <p>おいもほりゲームをやってみよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習をもとに、本時のめあてについて確認する。 ・HRTとボランティア児童とのやりとりを見て、活動の流れを確かめる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>A:How many? (予想した数を尋ねる)</p> <p>B:○ sweet potatoes. (○は数)</p> <p>A:Go! (いもほりをする)</p> <p>B:How many? (釣り上げた数を尋ねる)</p> <p>AB:1, 2, 3, 4... (一緒に数える)</p> <p>A:○ sweet potatoes. (○は数)</p> <p>B:Yeah!/Close!</p> </div>	教師用お芋ほりゲームセット
1分	<p>○HRTの後につけて発話する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・How many? ・One sweet potato. (単数) ・(Two) sweet potatoes. (複数) 	<ul style="list-style-type: none"> ・HRTの後に続けて英語表現を繰り返し発話し、会話の流れをつかめるようにする。 	掲示用キーセンテンス 数カード
7分	<p>○班の友だちと予想したいもの数を尋ねたり、数えたりする。</p> <p>[期待する既習表現] Hello. See you. Thank you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに、お店屋さんとお客さんの役に分かれ、お客さん役が教室を動き回り、おいもほりゲームに挑戦する。 ◎予想した数を尋ねたり数えたりする英語表現に、慣れ親しんでいる。 <p>(行動観察・誌面分析)</p>	お芋ほりゲームのセット(各班)
3分	<p>Comments</p> <p>○本時の振り返りをする。</p> <p>○HRTのコメントを聞く。</p> <p>Greetings</p> <p>○おわりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで一緒に数を確かめ助け合ったり、自ら進んで尋ねたり答えたりしていた児童を紹介し、英語表現に慣れ親しんだ様子を称賛する。 ・振り返りをする。 	

本時の指導 (授業者 小野 晃寛)

単元名	収穫祭を彩るために、友だちにおいもの数を伝えて色紙をもらおう 3/3時間 モジュール①		
本時のねらい	おいもの数を伝えたり、数えたりする英語表現について、店員役と客役に分かれて繰り返し発話することを通して、相手に伝わる声の大きさをやりとりしようとする。		
準備	お芋ほりゲームセット (教師用, 児童用) 掲示用キーセンテンス 掲示用数カード (11~20) 色紙		
(評価規準)	おいもの数を伝えたり、数えたりする英語表現について、相手に伝わる声の大きさをやりとりしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)		

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価 (方法)	準備物
2分	<p>Greetings ○はじめのあいさつをする。</p> <p>Warming up ○Classroom English Song ○♪let's count from 11 to 20</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既習内容である曜日も尋ねる。 ジェスチャーを交えて歌うようにする。 	
2分	<p>Activities 本時のめあてと活動を確認する。</p> <p>おいもほりゲームをして、いろがみをあつめよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習をもとに、本時のめあてについて確認する。 HRTとボランティア児童とのやりとりを見て、活動の流れを確かめる。 <p>A:How many? (予想した数を尋ねる) B:○ sweet potatoes. (○は数) A:Go! (いもほりをする) B:How many? (釣り上げた数を尋ねる) AB:1, 2, 3, 4... (一緒に数える) A:○ sweet potatoes. (○は数) B:Yeah!/Close!</p>	教師用お芋ほりゲームセット
1分	<p>○HRTの後につけて発話する。</p> <p>A:How many? B:○ sweet potatoes. (○は数)</p>	<ul style="list-style-type: none"> HRTの後に続けて英語表現を繰り返し発話し、会話の流れをつかめるようにする。 	掲示用キーセンテンス 数カード
7分	<p>○クラスの友だちと予想したいもの数を尋ねたり、数えたりする。</p> <p>[予想される子どもの反応] ・相手に伝わる声の大きさを伝える。 ・笑顔でやりとりする。 ・相手と目を合わせる。</p> <p>[期待する既習表現] Hello. See you. Thank you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 予想した数やとれた数を伝えるときに、どんなことが大切か問いかけ、相手に伝わる声の大きさをやりとりする意識を高めるようにする。 班ごとに、店員役と客役に分かれ、おいもほりゲームに挑戦して色紙をもらう。 <p>◎おいもの数を伝えたり、数えたりする英語表現について、相手に伝わる声の大きさをやりとりしている。 (行動観察・誌面分析)</p>	お芋ほりゲームのセット(各班) 色紙(景品)
3分	<p>Comments ○本時の振り返りをする。 ○HRTのコメントを聞く。</p> <p>Greetings ○おわりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 相手に伝わる声の大きさをいもの数を伝えたり、数えたりしていた児童を紹介する。 	



外国語活動学習指導案

学習者 附属小学校 2年1組 34名
2年2組 35名
2年3組 35名
指導者 坂本 愛 (2年1組)
渡邊 克裕 (2年2組)
池田 里奈 (2年3組)

単元名 1年生とシルエットクイズをして仲良くなろう

1. 単元目標

- 日本語と外国語の形の言い方が違うことに気付く。 (言語や文化に関する気付き)
- 形を表す言葉やシルエットを尋ねる英語表現に慣れ親しむ。 (外国語への慣れ親しみ)
- 形やシルエットを互いにたずねてシルエットクイズを出したり答えたりしようとする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

2. 単元について

必然性	形について学習した1年生に、様々な形を組み合わせで作ったシルエットクイズを出し、お互い英語に慣れ親しみもっと仲を深めるため
リアル感	シルエットクイズの出題者として、1年生にヒントを出したりシルエットを尋ねたりするためのキーセンテンスとコミュニケーション
楽しさ	はっきり言ったり、ジェスチャーを使ったりして伝え方を工夫することにより、1年生に伝わったという喜びを感じたりコミュニケーションをしたりする楽しさ
相手意識	1年生がクイズに答えられるように、はっきりと伝えたり、クラスルームイングリッシュやジェスチャーを用いて1年生に反応を返そうとしたりする意識

3. 言語材料 (下線は新出表現)

- What's this?

What shape?

It's ~.

- 形(diamond, club, oval, spade)

[既出] (形を表す言葉) circle, square, triangle, star, heart, rectangle

[期待する既習表現] How are you? My name is ~.

4. 単元計画 (3時間)

時	本時のねらい (◆) と主な活動 (○)	◎評価の観点 (評価規準) (方法)			
1 モ ①	<p>◆形を表す英語の言い方について、歌を歌ったりゲームをしたりして繰り返し発話することにより、1年生にシルエットクイズを出すための会話の流れをつかみ、形を表す言葉の英語表現に慣れ親しむ。</p> <p>○Classroom English Practice</p> <p>○単元を通した目標について知る。</p> <p>① 1年生とシルエットクイズをしてもっとなかよくなるよう</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <p>形をあらわすえいごの言いかたになれよう</p> <p>○HRT と役割分担をして会話の基本となる文を発話し、未習の単語の意味や会話の流れをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%; padding: 5px;"> <p>1st.: What shape?</p> <p>2nd.: It's ().</p> <p>1st.: What shape?</p> <p>2nd.: It's ().</p> </td> <td style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">}</td> <td style="width: 35%; padding: 5px; border: 1px solid black;"> <p>クイズのヒントを出し終わるまで、数回繰り返す</p> </td> </tr> </table> <p>2nd.: What's this?</p> <p>1st.: (日本語で答える)</p> <p>2nd.: That's right! / No. sorry.</p> </div> <p>○児童の既習内容を引き出しながら形を表す言葉の英語表現について知る。</p>	<p>1st.: What shape?</p> <p>2nd.: It's ().</p> <p>1st.: What shape?</p> <p>2nd.: It's ().</p>	}	<p>クイズのヒントを出し終わるまで、数回繰り返す</p>	
<p>1st.: What shape?</p> <p>2nd.: It's ().</p> <p>1st.: What shape?</p> <p>2nd.: It's ().</p>	}	<p>クイズのヒントを出し終わるまで、数回繰り返す</p>			
モ ②	<p>○Classroom English Practice</p> <p>○HRT とボランティア児童とのやり取りを見て、コミュニケーション活動の流れを確かめる。</p> <p>○♪形の歌</p> <p>・形を表す英語を HRT の後につけて発話し慣れ親しみ、曲に合わせて歌う。</p> <p>○Key Word game</p> <p>・HRT の発する英語表現を聞いたり後につけて繰り返し言ったりしながら、形を表す言葉の英語表現に慣れ親しむ。</p>				
本時 モ ③ (2.1)	<p>○Classroom English Practice</p> <p>○♪形の歌</p> <p>○Key Word game</p> <p>○Missing game</p> <p>・HRT の発する英語表現を聞いたり後につけて繰り返し言ったりしながら、形を表す言葉の英語表現に慣れ親しむ。</p> <p>○自分の頑張りや友だちの良かったところなどを発表し、振り返りシートに記入する。</p>	<p>◎ (外国語への慣れ親しみ)</p> <p>形を表す英語の言い方について、1年生に英語でシルエットクイズを出すための会話の流れをつかみ、形を表す英語表現に慣れ親しんでいる。</p> <p style="text-align: right;">(行動観察・誌面分析)</p>			

2	<p>◆英語を使ったシルエットクイズの出し方を、HRT の後につけて繰り返し発話したり、ペアでシルエットクイズを出し合ったりすることにより、形を言ったりシルエットをたずねたりする英語表現に慣れ親しむ。</p>	
モ ①	<p>○Classroom English Practice ○♪形の歌 ○本時のめあてについて知る。</p> <p>えいごでシルエットクイズを出す言い方になれよう</p> <p>○HRT とボランティア児童とのやり取りを見て、コミュニケーション活動の流れを確かめる。 ○HRT の後につけて会話の基本となる文や形を表す言葉の英語表現を発話し、おおよその会話の流れをつかむ。 ○HRT の発する英語表現を聞いたり後につけて繰り返し言ったりしながら、形を尋ねる言葉の英語表現に慣れ親しむ。 ○モデルとして掲示しているシルエットを使って、ペアでシルエットクイズを出し合う。</p>	
モ ②	<p>○Classroom English Practice ○♪形の歌 ○HRT とボランティア児童とのやり取りを見て、コミュニケーション活動の流れを確かめる。 ○HRT の後につけて会話の基本となる文や形を表す言葉の英語表現を発話し、おおよその会話の流れをつかむ。 ○HRT の発する英語表現を聞いたり後につけて繰り返し言ったりしながら、形を尋ねる言葉の英語表現に慣れ親しむ。 ○モデルとして掲示しているシルエットを使って、ペアでシルエットクイズを出し合う。 ○相手を見ながら会話できている児童や相手に伝わるようなはっきりとした声で会話できている児童を認め、広める。 ○もう一度、ペアでシルエットクイズを出し合う。</p>	
本 時 モ ③ (2 2)	<p>○Classroom English Practice ○♪形の歌 ○HRT の後につけて会話の基本となる文や形を表す言葉の英語表現を発話し、おおよその会話の流れをつかむ。 ○HRT の発する英語表現を聞いたり後につけて繰り返し言ったりしながら、形を尋ねる言葉の英語表現に慣れ親しむ。 ○モジュール②の時と役を交代して、ペアでシルエットクイズを出し合う。 ○相手を見ながら会話できている児童や相手に伝わるようなはっきりとした声で会話できている児童を認め、広める。 ○もう一度、ペアでシルエットクイズを出し合う。 ○自分の頑張りや友だちの良かったところなどを発表し、振り返りシートに記入する。</p>	<p>◎ (外国語への慣れ親しみ) 英語を使ったシルエットクイズの出し方について、形を言ったりシルエットを尋ねたりする英語表現に慣れ親しんでいる。 ＜行動観察・誌面分析＞</p>

<p>3</p> <p>モ</p> <p>①</p>	<p>◆英語でのシルエットクイズを、1年生にも分かりやすい伝え方を考えたり、友だちの伝え方の良さを共有したりすることで、相手の目を見ながら聞き手に届く声の大きさや速さで伝えようとする。</p> <p>○Classroom English Practice</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>1年生にも伝わるように工夫しながら、 友だちとシルエットクイズを出し合おう</p> </div> <p>○どんな伝え方をしたら1年生に分かりやすいかを考える。 〔期待される児童の反応〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Clear Voice ・ゆっくり ・アイコンタクト ・スマイル ・ジェスチャー <p>○1年生役と2年生役に分かれて、自分が考えたシルエットのクイズを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わる工夫をしたり、Classroom English で反応を返したりすることができていた児童を取り上げ認める。 <p>○もう一度、同じ役割でシルエットクイズを出し合う。</p>	
<p>モ</p> <p>②</p>	<p>○Classroom English Practice</p> <p>○交流をする上で大切なこと（相手の目を見ながら、相手に伝わる声の大きさや速さで話すこと）を確認する。</p> <p>○Classroom English の中で、どの言葉がつかえそうか考え、出し合う。</p> <p>○1年生役と2年生役に分かれて、自分が考えたシルエットのクイズを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わる工夫をしたり、Classroom English で反応を返したりすることができていた児童を取り上げ認める。 <p>○もう一度、同じ役割でシルエットクイズを出し合う。</p>	
<p>本時</p> <p>モ</p> <p>③</p> <p>②</p> <p>③</p>	<p>○Classroom English Practice</p> <p>○交流をする上で大切なこと（相手の目を見ながら、相手に伝わる声の大きさや速さで話すこと）を確認する。</p> <p>○Classroom English の中で、どの言葉がつかえそうか考え、出し合う。</p> <p>○1年生役と2年生役に分かれて、自分が考えたシルエットのクイズを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わる工夫をしている児童を取り上げ認める。 ・使うことのできた Classroom English について触れる。 <p>○もう一度、役割を変えてシルエットクイズを出し合う。</p> <p>○自分の頑張りや友だちの良かったところなどを発表し、振り返りシートに記入する。</p>	<p>◎（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）</p> <p>英語でのシルエットクイズを、相手の目を見ながら、聞き手に届く声の大きさや速さで話そうとしている。〈行動観察・誌面分析〉</p>

本時のねらい	<p>単元名 1年生とシルエットクイズをして仲良くなろう 1/3時間モジュール③</p> <p>形を表す英語の言い方について、歌を歌ったりゲームをしたりして繰り返し発話することにより、1年生にシルエットクイズを出すための会話の流れをつかみ、形を表す言葉の英語表現に慣れ親しむ。</p>
準備	<p>黒板掲示用会話文 黒板掲示用単語カード 黒板掲示用シルエットクイズ例</p> <p>振り返りシート</p>
(評価規準)	<p>形を表す英語の言い方について、1年生にシルエットクイズを出すための会話の流れをつかみ、形を表す言葉の英語表現に慣れ親しんでいる。</p> <p style="text-align: right;">(外国語への慣れ親しみ)</p>

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
4分	<p>Greetings</p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p>Warming up</p> <p>○Classroom English Practice</p> <p>○♪形の歌</p>		<p>Classroom English</p> <p>(教室掲示)</p> <p>黒板掲示用単語カード</p>
1分	<p>○めあてを確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">形をあらわすえいごの言い方になれよう</p>	<p>・本時のゴールの姿として、形を表す言葉の英語表現に慣れ、はっきりと言えられるようになるよう、声掛けをする。</p>	<p>黒板掲示用会話文</p>
4分	<p>Activities</p> <p>○Key Word game をする。</p> <p>・ペアの間に消しゴムを置き、両手は頭の上に置く。</p> <p>・HRT の後をリピートしながら形を表す言葉を繰り返し発話し、HRT またはボランティア児童が決めた Key Word が出たら、消しゴムを取る。</p>	<p>・HRT の発する英語表現を聞いたり後につけて繰り返し言ったりし、ゲームを楽しみながら、繰り返し発話させるようにする。</p> <p>・自信がなく、声が小さくなった単語は、ゲームの中で何度も発話させ、慣れ親しませる。</p>	<p>黒板掲示用単語カード</p>
4分	<p>○Missing game</p> <p>・単語カードの中から一枚抜き取り、フラッシュカードのやり方で、一枚ずつ発話する。</p> <p>・最後まで読み終わったら、一枚無くなったカードを当てる。</p>	<p>・自信がなく、声が小さくなった単語は、ゲームの中で何度も発話させ、慣れ親しませる。</p>	<p>黒板掲示用単語カード</p>
2分	<p>Greetings</p> <p>○出来るようになったことや頑張ったことを振り返り、終わりのあいさつをする。</p> <p>・あいさつの後、振り返りシートを記入する。</p>	<p>◎形を表す英語の言い方について、1年生にシルエットクイズを出すための会話の流れをつかみ、形を表す言葉の英語表現に慣れ親しんでいる。</p> <p style="text-align: center;"><行動観察・誌面分析></p>	<p>振り返りシート</p>

本時のねらい	<p>単元名 1年生とシルエットクイズをして仲良くなろう 2/3時間モジュール③</p> <p>英語を使ったシルエットクイズの出し方を、HRTの後につけて繰り返し発話したり、ペアでシルエットクイズを出し合ったりすることにより、形を言ったりシルエットをたずねたりする英語表現に慣れ親しむ。</p>
準備	<p>板掲示用会話文 黒板掲示用単語カード 黒板掲示用シルエットクイズ例</p> <p>シルエットクイズ用ワークシート</p>
(評価規準)	<p>英語を使ったシルエットクイズの出し方について、形を言ったりシルエットを尋ねたりする英語表現に慣れ親しんでいる。</p> <p>(外国語への慣れ親しみ)</p>

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	<p>Greetings</p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p>Warming up</p> <p>○Classroom English Practice</p> <p>○♪形の歌</p>		<p>Classroom English</p> <p>(教室掲示)</p> <p>黒板掲示用単語カード</p>
2分	<p>○めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>えいごでシルエットクイズを出す言い方になれよう</p> </div> <p>・HRTとボランティア児童とのやりとりを見て、コミュニケーション活動の流れを確かめる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1st.: What shape?</p> <p>2nd.: It's ().</p> <p>1st.: What shape?</p> <p>2nd.: It's ().</p> <p>2nd.: What's this?</p> <p>1st.: (日本語で答える)</p> <p>2nd.: That's right!</p> <p>/</p> <p>No, sorry.</p> </div>	<p>黒板掲示用会話文</p> <p>黒板掲示用シルエットクイズ例</p>
2分	<p>Activities</p> <p>○HRTの後につけて会話の基本となる文や形を表す言葉の英語表現を発話し、おおよその会話の流れをつかむ。</p> <p>1st.: What shape?</p> <p>2nd.: It's ().</p> <p>2nd.: What's this?</p> <p>1st.: (日本語で答える)</p> <p>2nd.: That's right! / No, sorry.</p>	<p>・()の中の単語を変えながら繰り返し発話させ、形を表す言葉についても、慣れ親しませていく。</p> <p>・What shape?とWhat's this?の意味の違いについて確認し理解させる。</p>	

2分	○HRT の発する英語表現を聞いたり後につけて繰り返し言ったりしながら、形を尋ねる言葉の英語表現に慣れ親しむ。	・声が小さくなり、自信がない単語や文は繰り返し発話させるようにする。	
3分	○モジュール②の時と役を交代して、ペアでシルエットクイズを出し合う。 [期待される児童の反応] ・○○さんがはっきりと言っていたので分かりやすかった ・○○さんが目を見て話してくれたので、うれしかった	・事前に、Half time で相手に伝わりやすいよう、相手の目を見て話したり、はっきりとした声で会話をしたりできていた友だちがいたかどうか尋ねることを伝えておく。 ・Half time で、1年生のことを意識して、相手に伝わりやすいよう、相手の目を見て話したり、はっきりとした声で会話をしたりできている児童を取り上げ、認める。	シルエットクイズ用ワークシート
3分	○もう一度同じ役割で、ペアを変えてシルエットクイズを出し合う。	・相手に伝わりやすいよう、相手の目を見て話したり、はっきりとした声で会話をしたりできている児童をその場で認め、声をかけていく。	
1分	Greetings ○頑張ったことや友だちの良かったところなどを発表し、終わりのあいさつをする。 ・あいさつの後、振り返りシートを記入する。	◎英語を使ったシルエットクイズの出し方について、形を言ったりシルエットをたずねたりする英語表現に慣れ親しんでいる。 ＜行動観察・誌面分析＞	振り返りシート

5. 本時の指導 2年3組

<p>本時のねらい</p> <p>準備</p> <p>(評価規準)</p>	<p>単元名 1年生とシルエットクイズをして仲良くなろう 3/3時間モジュール③</p> <p>英語でのシルエットクイズを、1年生にも分かりやすい伝え方を考えたり、友だちの伝え方の良さを共有したりすることで、相手の目を見ながら聞き手に届く声の大きさや速さで伝えようとする。</p> <p>黒板掲示用会話文 黒板掲示用単語カード 黒板掲示用シルエットクイズ例 シルエットクイズ用ワークシート 黒板掲示用 Classroom English カード</p> <p>英語でのシルエットクイズを、相手の目を見ながら聞き手に届く声の大きさや速さで伝えようとしている。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)</p>
---------------------------------------	--

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	<p>Greetings</p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p>Warming up</p> <p>○Classroom English Practice</p> <p>○♪形の歌</p>		Classroom English (教室掲示) 黒板掲示用単語カード
2分	<p>Activities</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1年生にも伝わるように工夫しながら、友だちとシルエットクイズを出し合おう</p> </div> <p>○1年生と交流する上で大切なこと(相手の目を見ながら、相手に伝わる声の大きさや速さで話すこと)を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>[期待される既習表現]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ How are you? ・ What's your name? </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1st. : What shape?</p> <p>2nd. : It's ().</p> <p>1st. : What shape?</p> <p>2nd. : It's ().</p> <p>2nd. : What's this?</p> <p>1st. : (日本語で答える)</p> <p>2nd. : That's right!</p> <p style="text-align: center;">/</p> <p style="text-align: center;">No, sorry.</p> </div> <p>・前時に確認した、交流をする上で大切なこと(相手の目を見ながら、相手に伝わる声の大きさや速さで話すこと、名前や気分を聞くことなどの挨拶)について児童から出させ、その良さや理由を共有させる。</p>	

2分	<p>○Classroom English の中で、どの言葉を使って反応を返したら、1年生がうれしいかを考え、今日チャレンジして使いたい言葉を出し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[予想される児童の反応]</p> <ul style="list-style-type: none"> * 1年生が間違えたとき <ul style="list-style-type: none"> ・ Close!(おいしい!) ・ Don't give up! (あきらめないで) * 1年生が正解したとき <ul style="list-style-type: none"> ・ Good Job! (よくできたね) ・ That's right! (正解!そのとおり) ・ O.K! (オーケー) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が出した意見を黒板に掲示できるように、あらかじめ黒板掲示用の Classroom English カードをいくつか準備しておく。 	黒板 掲 示 用 Classroom English
4分	<p>○1年生役と2年生役に分かれて、シルエットクイズを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 途中ハーフタイムで、相手に伝わりやすい言い方ができていた友だちの良い姿を全員で共有する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[期待される児童の反応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ○○さんがはっきりと言っていたので分かりやすかった ・ ○○さんが目を見て話してくれたので、うれしかった ・ ○○さんが笑顔で話してくれたのでうれしかった ・ ○○さんがジェスチャーを付けてくれたので、形が分かりやすかった </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 声の大きさや速さに気を付けて話し、交流しやすかった友だちについて発表させたり、実際に交流の様子を取り上げたりして、その良さを全体に広める。 ・ 使うことができた Classroom English について触れる。 	シルエットク イズ用ワーク シート
4分	○もう一度、役割を変えてクイズを出し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生に伝わるように工夫しながら交流ができている児童を、その場で認め声をかけていく。 ・ Classroom English を使って反応を返すことができていた児童についても、その場で認め声をかけていく。 	
1分	<p>Greetings</p> <p>○今日、頑張ったことや友だちの良かったところを振り返り、終わりのあいさつをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつの後、振り返りシートに記入をする。 	<p>◎英語でのシルエットクイズを、相手の目を見ながら、聞き手に届く声の大きさや速さで話そうとしている。</p> <p style="text-align: center;"><行動観察・誌面分析></p>	振り返りシー ト

外国語活動学習指導案

学習者 附属小学校 3年2組 34名
指導者 姫野 麻依

単元名 おうちの人に歌声発表会の招待状をつくって渡そう
(教材 3年-Unit 7 This is for you. カードをおくろう)

1. 単元の目標

- 日本語と英語の音声の違いに気づき、形の言い方や、欲しいものをたずねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 (知識及び技能)
- 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。 (思考力, 判断力, 表現力等)
- 相手に伝わるように工夫しながら、自分のほしいものや作った絵を伝えようとする。 (学びに向かう力, 人間性等)

2. 単元について

必然性	おうちの人に歌声発表会の招待状をわたす 外国語活動での成長をおうちの人に見てもらう
リアル感	自分の作りたい絵を完成させたり、実際におうちの人に招待状を渡したりするために必要なキーセンテンス
楽しさ	やりとりをしてほしいものを手に入れる楽しさ
相手意識	おうちの人喜んでもらえるようなものをつくる 相手に自分のほしいものやつくった絵が伝わるようにする

3. 言語材料

- What do you want? (A star), please. Here you are. This is for you. Thank you. You're welcome. What's this? It's (a clover).
- want, this, a, for, 状態・気持ち (big, small), 形(square, rectangle, star, diamond), bus, flower, shop, balloon, house, car, candy, 動物 (dog, cat, panda, mouse, bear)

[既出] I like (blue). Do you like (clover). How many (apples)? 形, 色, 数 (1~30), tree

[期待する既習表現] No, Sorry. Hello. How are you? Good bye.

4. 該当する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	学習指導要領 【CS】	ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取っている。
「やりとり」 話すこと	学習指導要領 【CS】	ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり質問に答えたりしている。
「発表」 話すこと	学習指導要領 【CS】	ア 身の回りの物の数や形状などについて、人前で実物やイラスト、写真などを見せながら話している。

5. 単元計画（4時間）

時	目標（◆）と主な活動（【 】, ○)【 〇】＝誌面化されている活動	◎評価の観点（評価規準）(方法)
1 本時	<p>◆単元の見通しを持ったり、形や色、大きさを表す英語表現を聞き取ったりしようとする。</p> <p>○Classroom English Practice ○単元を通した目標について知る。</p> <p>おうちの人に歌声発表会の招待状をつくって渡そう。</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <p>形の言い方になれよう。</p> <p>○Let's Play1：シェイプクイズ ○【Let's Play2】：ポインティングゲーム P.26 ○フラッシュカード（色・形） ○Let's play 3：シェイプクイズ2</p>	<p>◎（聞くこと ア） 形を表す言葉の英語表現を聞き取ろうとしている。 ＜行動観察・誌面分析＞</p>
2	<p>◆欲しい物を尋ねたり答えたりしようとする。</p> <p>○Classroom English Practice ○本時のめあてについて知る。</p> <p>ほしい物をたずねたり答えたりする表現になれよう。</p> <p>○【Let's Chant】：What do you want? P.31 ○Activity：ビンゴゲーム 一人ひとりがビンゴカードと形のカードを持ち、ビンゴカードのマスの中に描かれている形のシールを集める。</p>	<p>◎（話すこと【や】ウ） 欲しいものを尋ねたり答えたりしようとしている。 ＜行動観察・誌面分析＞</p>
3	<p>◆復唱したり簡単な英語を使って問い返したりするなど正確にやりとりをしようとする。</p> <p>○Classroom English Practice ○本時のめあてについて知る。</p> <p>しょうたいじょうに必要な絵カードを集めよう。</p> <p>○【Let's Chant】：What do you want?P.31 ○【Let's Listen】：誰の作品かを聞いて、線で結ぶ。 ○Activity：招待状作りに必要なパーツを尋ね渡したり、貰ったりしながら招待状に使う形を集める。</p>	<p>◎（話すこと【や】ウ） 復唱したり簡単な英語を使って問い返したりするなど正確にやりとりしようとしている。 ＜行動観察・誌面分析＞</p>
4	<p>◆相手に招待状を見せながら話すようにする。</p> <p>○Classroom English Practice ○本時のめあてについて知る。</p> <p>しょうたいじょうをわたす練習をしよう。</p> <p>○【Let's Chant】：What's this? P.31</p>	

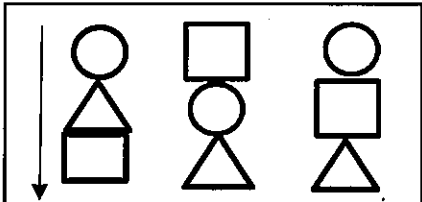
<p>○ 【Let's Watch and Think】：映像を見て、世界のいろいろなグリーティングカードについて知る。 P.28</p> <p>○Activity：実際におうちの人に渡す招待状で、デザインの紹介や渡す練習をする。 P.29</p>	<p>◎（話すこと〔発〕ア） 相手に招待状を見せながら話すようにしている。 ＜行動観察・誌面分析＞</p>
--	---

6. 本時の指導

Unit 7 - Lesson 3	単元名	This is for you	カードをおくろう	1 / 4 時間
本時のねらい	形を表す英語表現を聞いてその形を指さしたり、複数に連なった形を聞いてどの形かを考えたりする事を通して、聞き取ろうとする。			
準備	デジタル教材 単語カード 振り返りシート ワークシート 招待状 (教師モデル) フラッシュカード めあてシート 単元シート 拡大掲示			
(評価規準)	形の英語表現を聞き取ろうとしている。(聞くこと ア)			

時間	児童の活動	指導者の活動◎ 評価 (方法)	準備物
事前	<ul style="list-style-type: none"> 図工の学習で形を使ったカード作りをすることで、形を使って表現するおもしろさに出会わせておく。また、作品は持ち帰らずに学級内に掲示することで、家族に見せるためにもう一枚つくりたいという気持ちへ向かうようにする。 日常の学校生活で使うお知らせコーナーに形を使ったデザインを付けたり、何のデザインかわかったかを聞いたりする。形から相手が伝えたい事を推測する楽しさを体験し、自分も形を使って誰かに思いを伝えるカードを作りたいという気持ちへ向かうようにする。 休み時間を使って本時まで、教師が実習生宛てに招待状を作っているところを見せておくことで、自分も招待状を作りたいという気持ちに向かうことができるようにする。また、実習生の好きな物を思い出しながらデザインを考える様子を見せることで、実習生が喜ぶよう工夫して招待状を作っていることに気づくことができるようにする。 		
3分 (1分)	<p>Greetings</p> <p>○はじめのあいさつをする。</p>		
(2分)	<p>Warming up</p> <p>○Classroom English Song (Teacher's song 先生のことば)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前で実演する児童を3名程指名し、全員でジェスチャーをつけながら歌う。 	
16分	<p>○教師が実習生に招待状を渡したときの映像を見て、単元の見通しをもつ。</p> <p>デモムービーの内容</p> <p>T : Hi, Ms.Matsui. M : Hi. T : This is for you. Two Red hearts. Two purple hearts. One pink rectangle. What's this? M : Clover? T : Yes! It's clover. : You like clover, right? M : Yes! I like clover!!! T : Here you are. M : Thank you. : Oh! It's green! I like green! Thank you! T : You are welcome.</p> <p>[予想される子どもの反応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 図工でいい作品が作れたから、家族にも渡したい。 家族も来るから招待状を渡したい 招待状を渡して喜んでほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 教師モデルの拡大掲示を見せ、学校で教師が作っていた招待状であることを想起させ、実習生に会って渡してきたことを告げることで、実習生の反応に意識して観るようにする。 デモムービー内で、教師 (T) が実習生 (M) の好きな物をデザインしたことを伝えたときに実習生が感激する様子を見せることで、相手が喜ぶデザインで招待状を作るとより喜んでもらえることに気づくようにする。 後日来た招待状への返事を読み、「歌声発表会に行きたいとは思っていたけれど、改めて自分あてに招待状が届いて、自分のためにデザインまで考えてくれていてとても嬉しかった。」という貰った側の気持ちを知ること、来ることが決まっている家族にも招待状を送りたいという気持ちに向かうようにする。 デモムービーを観ている最中や、観た後に「作りたい」という呟きがあれば取り上げ、作りたい理由について尋ねることで、「おうちの人喜ぶような招待状にしたい」という気持ちに向かうようにする。 子どもから「作りたい」という言葉が出ない場合は、ALT が招待状を貰った実習生を羨ましがるとの呟きを行うことで、子どもの意欲を高める。 3年生で考えた歌声発表会のテーマの中 	デジタル教材 電子黒板

	<p>おうちの人に歌声発表会の招待状をつくって渡そう</p> <p>○Demonstration : 再度映像を見て招待状を渡すときに使う英語表現を確認する。</p> <p>〔予想される子どもの反応〕</p> <p><色></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Red ・ pink ・ purple ・ yellow <p><数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ one ・ two <p><渡すとき></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ This is for you. ・ Here you are. <p><形></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ heart ・ rectangle <p><クイズを出すとき></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ What's this? ・ You like ○○, right? <p><クイズの答え></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ clover 	<p>にある「成長」という言葉から、「『おうちの人に歌声で成長を伝えよう』だから、歌だけでなく招待状渡しも英語で挑戦してみない?」と投げかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習生に渡したときのように英語で招待状を渡すためには、何を勉強したらよいかと投げかける。困っている様子があれば、もう一度映像を見て確認するかと投げかける。「どのような言葉が聞こえるか」という視点で映像を見せることで、招待状を渡す為に必要な英語表現に気づくようにする。聞こえてきた言葉を出し合い、黒板に位置付ける。それを種類ごとに整理したり、既習か未習かを確認したりすることで、学習の見通しをもつことができるようにする。 	<p>単語カード</p>
<p>1分</p>	<p>○めあてを確認する。</p> <p>形の言い方になれよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童と立てた学習の見通しをもとに、本時のめあてを確認する。 ・ 教師モデルの中の形を指さしながら英語での言い方を問い、現時点でどれだけ英語で言えるかを確認する。 	<p>教師モデル めあてシート 単元シート</p>
<p>5分</p>	<p>Activity</p> <p>○フラッシュカード</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ フラッシュカードを使って何度も発音することを通して、形の英語表現に慣れるようにする。 ・ 初めは、ポインティングゲームで使う Let's Try!26 ページのイラストを使って形の言い方の確認を行う。教師が ALT に「What shape?」と問い、ALT が形を答える。同じ形のを連続で問い、ALT の答えを聞くことで形とその英語表現を音声で関連付けられるようにする。慣れてきたところで同じ形のを指さし児童に「What shape?」と問うことで、ALT と同じように形を英語で言えるようにする。出題の順番は、既習表現の circle と heart から行うことで、「What's shape?」の意味を推測することができるようにする。 ・ 形の言い方に慣れてきたところで、おにぎりや定規など身の回りの物の絵を電子黒板のフラッシュカードの中に入れて置き、形を英語で言っていくことで、次々の形からつくりたいものを想像させる手がかりになるようにする。 ・ 教師はフラッシュカードをしながら、児童の口の動きを確認し、困りを抱える児童を把握しておく。次のポインティングゲームのときに支援に入る。 	<p>単語カード</p> <p>P.26 の拡大掲示</p> <p>フラッシュカード (電子黒板)</p>

5分	<p>○【Let' s Play2】: ポインティングゲーム P.26 ALTが発音した形を探し、指でさす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 問題と問題の間を徐々に短くしていくことで、聞き取った形が何かより速く考えることを意識できるようにする。 形を見つけた際に、形を指さすと同時に英語で発音することをきまりづけることで、形の言い方に慣れるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【困りを抱える児童への支援】 ALTが出題している間、教師は形が聞き取れずに困っている児童と一緒に探して再度発音しながら形を指さすことで、形と発音を関連づけられるようにする。</p> </div>	拡大掲示
5分	<p>○Let's play 3 : シェイプクイズ2 団子のように3つ以上連なった形について、ALTが上にある形から順番に英語で伝えるのを聞いて、どの形かを当てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> 最初は聞き取りやすい簡単な問題を提示し、徐々に難易度を上げることにより、段階的に聞き取ることができるようになる。 ALTが形の拡大掲示(答えのみ)を見ながら一度発音し、子どもに拡大掲示を見せ解答と合っているか確認させ、形の言い方をALTの後に続けて発音する流れを一問ずつ行うことで、形の言い方に慣れるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【困りを抱える児童への支援】 ALTが出題している間、教師は形が聞き取れずに困っている児童と一緒に探して再度発音しながら形を指さすことで、形と発音を関連づけられるようにする。</p> </div> <p>◎形を表す言葉の英語表現を聞き取ろうとしている。</p> <p style="text-align: right;"><行動分析・誌面分析></p>	形の拡大掲示 (答えのみ) ワークシート
9分	<p>Comments ○本時の振り返りをする。</p> <p style="margin-top: 20px;">○HRTのコメントを聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りシートを書く前に、招待状(教師モデル)の中にある形を英語で言えるか確認すること(めあてを出す前に行った方法と同様)で、学習前と後の自分たちの伸びに気づくことができるようにする。また、招待状を渡すときのやりとりで必要な形の説明が言えるようになってきていることを価値付けることで、ゴールを意識した振り返りになるようにする。 振り返りは振り返りシートに記入する。 	教師モデル 振り返りシート
1分	<p>Greetings ○おわりのあいさつをする。</p>		

外国語活動学習指導案

学習者 モ① 附属小学校 3年3組 35名
 学習者 モ② 附属小学校 3年1組 35名
 指導者 モ① 平 祐次郎
 指導者 モ② 中山 篤士

6. 本時の指導

Unit 7 - Lesson 2	単元名	This is for you カードをおくろう	2 / 4 時間
本時のねらい	形シールの集め方について、教師の後に続いて反復練習したり、実際に尋ね合ったりする活動を通して、欲しい物を尋ねたり答えたりするようにする。		
準備	デジタル教材 単語カード 振り返りシート 招待状 (教師モデル) 形のカード 封筒 めあてシート 単元シート 掲示用キーセンテンス ビンゴカード 掲示用ビンゴカード		
(評価規準)	形シールの集め方について、欲しい物を尋ねたり答えたりするようにしている。 (話すこと [や] ウ)		

時間	児童の活動	指導者の活動◎評価 (方法)	準備物
1分	Greetings ○はじめのあいさつをする。		
2分	Warming up ○Classroom English Song (Teacher's song 先生のことば)	・児童の言いやすいスピードに調整しながら言うようにする。	
4分	Activities ○本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">ほしい物をたずねたり答えたりする表現になれよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師モデルを掲示することで、本時は何のためにするのかを確認できるようにする。 ・一人ひとりが持っている形のカードだけで、自分がデザインしたいものがつくれるか尋ねることで、友だちと欲しい物を尋ねたり答えたりして形のカードを集める必要性があることを確認できるようにする。 ・やり取りをするための表現を学ぶことが必要であることを確認し、本時のめあてを位置付ける。 	教師モデル 形のカード 封筒 めあてシート 単元シート
8分	[Let's Chant] : What do you want? p.31 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> [予想される子どもの反応] ・ What do you want? ・ please ・ triangle ・ square ・ red ・ blue ・ house ・ car </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴前に本時で使えそうな言葉がないか探すように伝えることで、視点を持って活動を行えるようにする。 ・どんな言葉が聞こえてきたか尋ねることで、本時に使うセンテンス "What do you want?" を確認できるようにする。 	デジタル教材 掲示用キーセンテンス

6. 本時の指導

Unit 7 - Lesson 3	単元名	This is for you	カードをおくろう	3 / 4 時間
本時のねらい	招待状に必要な絵カード集めについて、交流したり、尋ねる際の困りや友だちの良さを共有しより正確に聞き取る方法を考えたりすることを通して、欲しいものを尋ねたり答えたりする英語表現を正確にやりとりしようとする。			
準備	デジタル教材 単語カード 絵カード 振り返りシート ワークシート フラッシュカード めあてシート 単元シート 話型カード 絵カード (デモ用) ワークシート (デモ用 2 枚) 封筒			
(評価規準)	招待状に必要な絵カード集めについて、復唱したり、簡単な英語を使って問い返したりして、欲しいものを尋ねたり答えたりする英語表現を正確にやりとりしようとしている。 (話すこと [や] ウ)			

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価 (方法)	準備物
2分 1分	<p>Greetings ○はじめのあいさつをする。</p> <p>Warming up 【Let's Chant】: What do you want? p.31 ○フラッシュカード (色・形・大きさ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フラッシュカードの絵を英語で言う活動を通して、前時までの学習で慣れ親しんだ色や形、大きさの言い方を確認する。 	<p>デジタル教材 フラッシュカード (電子黒板)</p>
2分	<p>○めあてを確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">しょうたいじょうに必要なカードを集めよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しや前時の学習をもとに、本時のめあてを確認する。 	<p>めあてシート 単元シート</p>
30分 (5分)	<p>Activity ○Demonstration: HRT が尋ねる役、児童が答える役で、欲しいものを伝えたり渡したりする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">A: What do you want? B: (A big) (pink) (circle), please. A: O.K. Here you are.</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">〔期待する既習表現〕 O.K. Here you are. Thank you. You are welcome See you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の表現から発展したところに着目させ、欲しい形を集めるには3つの特徴 (色・形・大きさ) を伝える必要があることに気づかせる。 	<p>絵カード ワークシート</p>
(5分)	<p>○Repeating: 欲しいものを尋ねたり伝えたりする表現や形・色・大きさを表す言い方を復唱することで確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の後に児童が復唱した後、教師と児童で尋ねる役と答える役に分かれ繰り返し言うことで、英語表現や交流の仕方を確認できるようにする。 	<p>話型カード 単語カード</p>
(15分) 本時モ②	<p>Activity ○Activity: 招待状の絵を作るために必要な形を英語で伝えて、形のカードを貰ったり、渡したりする。 (前半: 10分, half time: 5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・渡すためのカード (形・数はランダム) が入った封筒と、貰ったカードを入れる封筒を配る。招待状作りは、交流で貰ったカードを使うことを確認する。 ・招待状作りに必要なカードの数量を予めワークシートに記入しておく。 	<p>話型カード 封筒 ワークシート</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・困りを抱える児童の支援： 一緒に発話したり，友達に言い方を尋ね発話したりして，円滑に活動が進むように促す。 ・Half Time では，3つの特徴（色・形・大きさ）を伝えられなかったときに，「Big? Small?」などと英語を使って尋ねたり，聞き返したりして，正確に聞き取ろうとしている児童を紹介し広める。 ◎復唱したり，簡単な英語を使ったりして問い返したりして，正確にやりとりしようとしている。 <p style="text-align: right;">＜行動観察・紙面分析＞</p>	
(5分)	(後半：5分)		
9分	<u>Comments</u> ○本時の振り返りをする。 ○HRT のコメントを聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りをシートに記入する。 	振り返りシート
1分	<u>Greetings</u> ○おわりのあいさつをする。		

外国語活動学習指導案

学習者 附属小学校4年3組 34名
指導者 井 智美

単元名 給食の人気メニュー『カレーライス』をプロデュースして、
全校のみんなに喜んでもらおう
(教材 4年—Unit7 What do you want? ほしいものは何かな?)

1. 単元目標

- 食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- 欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介し合う。
(思考力、判断力、表現力等)
- 相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。
(学びに向かう力、人間性等)

2. 単元について

必然性	栄養教諭の願い(特別活動との関連)をかなえるために、カレーライスに入れる具材を自分たちで考え、おすすめのカレーライスプロデュースする
リアル感	よりよいカレーライスプロデュース(特別活動との関連)のために、どんな具材を入れたいか友達と伝え合うキーセンテンスとコミュニケーション
楽しさ	カレーライスのいろいろな具材を知る楽しさ 給食の「カレーライス」プロデュースする楽しさ
相手意識	オリジナルカレーライスについて、友だちの選んだ食材を共感的に聞こうとする意識

3. 言語材料(下線は新出表現)

- What do you want? I want (potatoes), please. How many? (Two), please. Here you are. Thank you.
- 果物・野菜(vegetable, potato, cabbage, corn, cherry), 飲食物 (sausage)

[既出] What's this? It's (a fruit). Do you have (a pen)? Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. I [have / don't have] (a pen). 果物・野菜, 飲食物, 数 (1~60)

[期待する既習表現] Do you like ~? Yes, I do. I like ~. No, I don't. I like ~. Why? What (food) do you like?

4. 該当する学習指導要領における領域別目標と、本校における Challenge・Can-Do リストの関連

聞くこと	学習指導要領 【CS】	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと 【&】	学習指導要領 【CS】	イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。

5. 単元計画（4時間）※特別活動との関連（3時間）

時	目標（◆）と主な活動（【 】, ○) 【 】=誌面化されている活動	◎評価の観点（評価規準）<方法>
特①	○給食の食べ方を振り返り、食べ物の3つのはたらきについて学習した後、栄養教諭の願いを知る。	
1	<p>◆食材の言い方や、欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむとともに、単元の見通しをもつ。</p> <p>○Classroom English Practice</p> <p>○Let's Chant : Do you have a pen? (Unit5)</p> <p>○単元を通した目標について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">給食の人気メニュー『カレーライス』をプロデュースして、全校のみんなに喜んでもらおう</div> <p>・特別活動と関連付けて、単元のゴールを知らせる。</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">野菜やくだもの言い方になれよう</div> <p>【Let's Watch and Think】 P.27</p> <p>・映像資料で外国と日本の市場を比べながら視聴する。</p> <p>・野菜や果物の言い方を何度も聞いたり、指導者の質問に答えたりしてその英語の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>○キーワードゲーム</p> <p>○Activity : 好きな食べ物について伝え合う。</p> <p>【Let's Listen1】: 登場人物が自分のフルーツパフェの中身を紹介するのを聞き、線で結ぶ。</p> <p>【Let's Chant】 What do you want? P.27</p>	<p>◎（聞くこと イ）</p> <p>ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取っている。</p> <p>（行動観察・紙面分析）</p>
2	◆ピザについて紹介したり、欲しいものを尋ねたり要求したりして伝え合う。	

	<p>○Classroom English Practice</p> <p>【Let's Chant】: What do you want? P.27</p> <p>【Let's Listen 2】: 音声聞いて、缶詰イラストと文字を線で結ぶ。P.29</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">おすすめの「ピザ」のトッピングを伝え合おう</p> <p>○Let's Listen: 音声聞いて、ALT や HRT のおすすめの「ピザ」を聞いて本時の見通しを持つ。</p> <p>○【Activity2】: 自分が食べたいおすすめのピザについて伝え合う。P.29</p>	<p>◎ (話すこと [や] イ)</p> <p>自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。 (行動観察・振り返りカード)</p>
3	◆相手に配慮しながら、自分の家庭の「カレーライス」について伝え合う。	
モ	○Classroom English Practice	
①	【Let's Chant】: What do you want? P.27	
モ	○本時のめあてについて知る。	
②	(食材選びに向けて)家庭の「カレーライス」の好きな食材を伝え合おう	
	○Let's Listen: 音声聞いて、ALT や HRT の家庭の「カレーライス」を聞いて本時の見通しを持つ。	
	○Activity: 自分の家庭の「カレーライス」について伝え合う。	◎ (話すこと [や] イ)
		自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。 (行動観察・振り返りカード)
特②	○食材について調べ、自分のおすすめの食材を決める。	
4	◆相手に配慮しながら、自分のおすすめの「カレーライス」について伝え合う。	
本	○Classroom English Practice	
時	【Let's Chant】: What do you want? P.27	
	○本時のめあてについて知る。	
	自分の食材を友だちに喜んでもらえるかたしかめよう	
	○Let's Listen: 音声聞いて、ALT や HRT のおすすめの「カレーライス」を聞いて本時の見通しを持つ。	
	○Activity: おすすめの「カレーライス」について友達と伝え合う。	◎ (話すこと [や] イ)
		自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。 (行動観察・振り返りカード)
特③	○自分のおすすめのカレーライスを理由とともに栄養教諭に伝える。	

外国語活動学習指導案

学習者	モ①	附属小学校4年1組	35名
学習者	モ③	附属小学校4年2組	35名
指導者	モ①	附属小学校4年1組	35名
指導者	モ③	附属小学校4年2組	35名

**単元名 給食の人気メニュー『カレーライス』をプロデュースして、
全校のみんなに喜んでもらおう**

(教材 4年—Unit7 What do you want? ほしいものは何かな?)

6. 本時の指導

Unit 7-Lesson3	単元名 全校のみんなに喜んでもらうために、給食の人気メニュー『カレーライス』をプロデュースしよう 3/4時間		
本時のねらい	家庭のカレーライスについて、互いの異なる食材を伝え合ったり、友だちの家庭のカレーライスの食材で意外なものを出し合ったりすることを通して、動作や表情、うなずき等の非言語手段を用いながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとする。		
準備	ワークシート	掲示用キーセンテンス	ピクチャーカード (野菜・果物)
	デジタル教材	振り返りシート	
(評価規準)	家庭のカレーライスについて、動作や表情、うなずき等の非言語手段を用いながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。		

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価 (方法)	準備物
3分 本時 モ①	<p>Greetings</p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p>Warming up</p> <p>○Classroom English Practice</p> <p>【Let's Chant】What do you want? p.27</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の言いやすいスピードに調整をしながら言うようにする。 	デジタル教材
2分	<p>○本時のめあてを確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">(食材選びに向けて)家庭の「カレーライス」の好きな食材を伝え合おう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習や学習計画をもとに、本時のめあてを位置付ける。 ・自分のオリジナルの食材を考えるために友だちの家庭のカレーライスの食材を聞くという目的を全体で確認する。 	
10分	<p>○Let's Listen</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HRTとALTの家庭のカレーライスについてのやりとりを動画で視聴し、どのような英語表現を使ってい 	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴を通して、自分の家庭のカレーライスの伝え方をイメージし、本時の学習の見通しを持てるようにする。 	

	<p>るか確認する。</p> <p>○家庭のカレーライスを伝え合うための主なキーセンテンスを確認し、繰り返し発話し慣れ親しむ。</p>	<p>・HRT の後に続けて発話するようにし、キーセンテンスに慣れ親しめるようにする。</p>	
15分	<p>○Activity (前半)</p> <p>・自分の家庭のカレーライスを紹介し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A: What do you like? B: I like beans. I like chicken. I like pumpkins. Do you like my carry and rice?</p> </div>	<p>・家庭のおすすめの食材が伝わるような言い方で伝えたり、友だちの家庭の食材について反応を返して受容しながら聞いたりしている児童を見取り、その場で付箋を渡ししながら評価していく。</p> <p>・家庭のカレーライスを紹介する目的を再確認し、友だちの家庭のカレーライスの食材を知りどうだったか尋ね、様々な食材があることを広げる。</p>	キーセンテンス
10分 本 時 モ ③	<p>○Activity (後半)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[期待する既習表現] Oh. I see. Very nice. Really? Me too.</p> </div>	<p>・非言語のやりとりが上手くいっている児童の様子をとりあげ、お互いの反応が食材選びの参考になることに気付けるようにする。</p> <p>・自分を取り入れたい食材があったか尋ね、全体に広げる。</p> <p>◎ (話すこと [や] イ)</p> <p>家庭のカレーライスの食材について、動作や表情、うなずき等の非言語手段を用いながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとしている。</p> <p>〈行動観察・振り返りシート点検〉</p>	
5分	<p>Comments</p> <p>○本時の振り返りをする。</p> <p>○HRT のコメントを聞く。</p> <p>Greetings</p> <p>○おわりのあいさつをする。</p>	<p>・相手に配慮しながら、伝え合ったり聞いたりしようとしている児童を紹介する。</p>	振り返りシート

6. 本時の指導

Unit 7-Lesson4 単元名 全校のみんなに喜んでもらうために 給食の人気メニュー『カレーライス』をプロデュースしよう 4/4時間	
本時のねらい	おすすめのカレーライスの食材について、活動の目的を確認したり、自分が選んだ3つのおすすめの食材を伝え合ったりすることを通して、動作や表情、うなずき等の非言語手段を用いながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとする。
準備	ワークシート 掲示用キーセンテンス ピクチャーカード（野菜・果物） デジタル教材 振り返りシート
(評価規準)	おすすめのカレーライスの食材について、動作や表情、うなずき等の非言語手段を用いながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとしている。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
3分	<p>Greetings ○はじめのあいさつをする。</p> <p>Warming up ○Classroom English Practice 【Let's Chant】What do you want? p.27</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の言いやすいスピードに調整しながら言うようにする。 	デジタル教材
3分	<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分の食材は友だちに喜んでもらえるかたしかめよう</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〔予想される子どもの反応〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの人に聞く。 ・相手の反応を見る。 ・自分の食材のよさを伝える。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習や学習計画をもとに、本時のめあてを位置付ける。 ・自分が考えた食材が全校のみんなに喜んでもらえるか友だちに聞いてもらい、確かめるという単元の目的を確認した後、どうやって確かめられそうか全体に問い、交流の視点を明確にする。 	
7分	<p>○Let's Listen</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HRT と ALT のおすすめのカレーライスについてのやり取りを聞いて、どのような英語表現を使っているか確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A : What do you want? B : I want (onions). (野菜) I want (chicken). (肉) I want (shrimps). (オリジナル) Do you like my curry and rice?</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT と HRT の会話の視聴を通して、自分のおすすめのカレーライスの伝え方をイメージし、本時の学習の見通しを持てるようにする。 	

	<p>○おすすめの食材を伝え合うための主なキーセンテンスを確認し、繰り返し発話し慣れ親しむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A : What do you want? B : I want (potates).</p> </div>	<p>・HRT の後に続けて発話するようにし、キーセンテンスに慣れ親しめるようにする。</p>	<p>ピクチャーカード 掲示用キーセンテンス</p>
<p>25分</p>	<p>○Activity : 自分のおすすめのカレーライスの食材を伝え合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[期待する既習表現] Oh. I see. Nice. Really? Me too. I (don't) like ○○. Do you like ○○? It's delicious. It's health.</p> </div>	<p>・自分の思いが伝わるような言い方で食材を伝えたり、相手の考えた食材について反応を返して受容しながら聞いたりしている児童を見取り、その場で付箋を渡ししながら評価していく。</p> <p>※ [困りを抱えている児童の支援] 上手く伝えられなかったり、食材がいかどうか確かめられなかったりする児童には、個別にアドバイスをします。</p> <p>・途中 Half time を設け、全校に喜んでもらえそうか確かめられたか尋ねる。非言語のやりとりが上手いっている児童を取り上げ、本時の活動で大切なことを再度確認する。</p> <p>◎ (話すこと [や] イ) おすすめのカレーライスの食材について、動作や表情、うなずき等の非言語手段を用いながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとしている。</p> <p>〈行動観察・振り返りシート点検〉</p>	<p>ワークシート</p>
<p>7分</p>	<p>Comments ○本時の振り返りをする。 ○HRT のコメントを聞く。</p> <p>Greetings ○おわりのあいさつをする。</p>	<p>・相手に配慮しながら、伝えたり聞いたりしようとしている児童を紹介する。</p>	<p>ふりかえりシート</p>

外国語科学習指導案

学習者 附属小学校5年3組 34名
指導者 益戸 順一

単元名 最高学年に向けて、附属小学校のことをもっと知ろう【先生編】
(教材 5年—Unit 5 She can run fast. He can jump high. できること)

1. 単元の目標

- 自分や第三者について、できることやできないことを聞いたり言ったりすることができる。また、文字には音があることに気付く。(知識及び技能)
- 自分や第三者について、できることやできないことを、考えや気持ちも含めて伝え合う。(思考力、判断力、表現力等)
- 他者に配慮しながら、自分や第三者についてできることやできないことなどを紹介し合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 単元について

必然性	委員会や縦割り班活動で高学年として全校を共にリードする先生方のできることについて、自分のできることやできないことも含めて英語で紹介する
リアル感	先生や友だち、自分のできることやできないことを伝え合うためのキーセンテンスとコミュニケーション
楽しさ	先生や友だちのできることやできないことを知る楽しさ 事前インタビューを通して自分だけが知った先生のできることについて紹介する楽しさ
相手意識	先生や友だちのできることやできないこと受け止め尊重しようとする意識

3. 言語材料 (下線は新出表現)

- Can you (sing well)? Yes, I can. / No, I can't. [I / You / He / She] [can / can't] (sing well).
- 動作 (play [the recorder / the piano], ride a [bicycle / unicycle], swim, skate, ski, cook, dance, run fast, jump high, sing well), can, can't, he, she, Mr., Ms., net, omelet

animal, shoes, T-shirt, think, ant

[既出] スポーツ, 動作, 日課, not

[期待する既習表現] I like (tennis). He is (great). (Fantastic)! He is (super) teacher.

4. 該当する学習指導要領における領域別目標

英 語	学習指導要領 【CS】	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
英 語	学習指導要領 【CS】	ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。
英 語	学習指導要領 【CS】	ウ 身近で簡単な事柄について、話す内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書 く こ と	学習指導要領 【CS】	ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

5. 単元計画（8時間）

時	目標（◆）と主な活動（【 】, ○) 【 】=誌面化されている活動	◎評価の観点（評価規準）〈方法〉
1	<p>◆動作を表す語や「できる」「できない」という表現が分かるとともに、単元の見通しをもつ。</p> <p>○Classroom English practice</p> <p>○Small Talk：先生のできること・できないこと</p> <p>○単元を通した目標について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>最高学年に向けて、附属小学校のことをもっと知ろう【先生編】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・先生の紹介動画を視聴する。 ・5年生みんなで附属小の先生の紹介動画を作り、委員会や縦割り掃除など先生方と協力して全校をリードする際に見ることができるようにすることを提案する。 <p>○本時のめあてについて知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>単元の計画を立て、動作を表す語や「できる」「できない」という表現に慣れ親しもう</p> </div> <p>○単元の目標を踏まえ、何をどのように学習すべきか、単元の計画を立てる。</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.36 ：映像資料の映像なしに音声のみを聞いて、その人物が誰かを推測する。</p> <p>【Let's Play 1】：指導者の話を聞いて、誌面のどの動物かを推測して答える。p.34, 35</p> <p>【Let's Chant】 Can you sing well? p.35</p> <p>【Jingle】 Animals Jingle p.39</p>	<p>◎（聞くこと イ）</p> <p>ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取っている。</p> <p style="text-align: right;">〈行動観察・誌面分析〉</p>
2	<p>◆動作を表す語や「できる」「できない」という表現を聞いたり言ったりできる。</p>	

	<p>○Classroom English practice</p> <p>【Let's Chant】 Can you sing well? p.35</p> <p>【Let's Listen 1】: 音声を聞いてどの動物かを考えて、イラストの下に番号を記入する。 p.36</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <p>動作を表す語や「できる」「できない」という表現に慣れ親しもう</p> <p>【Let's Play 2】. ポインティング・ゲーム p.37</p> <p>○Let's Talk</p> <p>○キーフレーズ・ゲーム</p> <p>・I can ~./I can't ~. を使って行う。</p> <p>【Jingle】 Animals Jingle p.39</p> <p>○Sounds and Letters</p>	<p>◎ (聞くこと イ)</p> <p>ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取っている。</p> <p>〈行動観察・誌面分析〉</p>
3	<p>◆できることやできないことを含む短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ったり、できるかどうかを尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>○Classroom English practice</p> <p>【Let's Chant】 Can you sing well? p.35</p> <p>○Small Talk : 好きなスポーツや趣味</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <p>できるかどうか尋ねる表現に慣れ親しもう</p> <p>【Activity 1】 指導者の質問に答えたり、指導者と一緒に代表児童に尋ねたりする。 p.37</p> <p>・ペアでできることできないことを予想して尋ね合う。</p> <p>【Let's Listen 2】 Who am I? 音声を聞いて、イラストにある動物の内どの動物のことかを考える。 p.36</p> <p>○デスティニー・ゲーム</p> <p>【Jingle】 Animals Jingle p.39</p> <p>○Sounds and Letters</p>	<p>◎ (話すこと [や] ア)</p> <p>基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりしている。〈行動観察・誌面分析〉</p>
4 モ ①	<p>◆できるかどうかを尋ねたり答えたりするとともに、短い話を聞いて具体的な情報を聞き取る。</p> <p>○Classroom English practice</p> <p>【Let's Chant】 Can you sing well? p.35</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <p>友だちのできることを聞き取ろう</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 前半のみ p.38</p> <p>: 映像を視聴して、誌面に○や△を書いたり、指導者の質問に答えたりする</p> <p>【Activity 2】 友達にあることについてできるかどうかを尋ね合う。 p.37</p> <p>【Activity 3】 チームの先生へインタビューする内容を考える。</p>	<p>◎ (聞くこと イ)</p> <p>ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報</p>

	p.39 ○Sounds and Letters	報を聞き取っている。 〈行動観察・誌面分析〉
5 本時	<p>◆第3者についてできることやできないことを聞いて分かる。</p> <p>○Classroom English practice</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「Mr./Ms.〇〇」とくり返さなくてすむ言い方で先生を紹介してみよう</p> </div> <p>【Let's Watch and Think 2】後半 : Let's Watch and Think 2 の後半を視聴し、第3者の紹介の仕方を知る。 p.38</p> <p>○Activities</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を聞いたり、質問に答えたりして、he, she の使い方を理解するとともに、I, you との違いを理解する。 ・それぞれの児童が担当している先生が he か she か全体で考える。 <p>○Who is he? Who is she?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者による He / She を使った人物紹介を聞き、それが誰かを当てる。 <p>○Who is he? Who is she?クイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達による He / She を使った人物紹介を聞き、それが誰かを当てる。 	<p>◎ (聞くこと イ)</p> <p>ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取っている。 〈行動観察・誌面分析〉</p>
6 モ②	<p>◆第3者のできることについて、内容を整理しながら話すことができる。</p> <p>○Classroom English practice</p> <p>【Let's Chant】 He can run first. She can sing well. p.35</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <p>【Activity 4】聞き手の反応を想定し、話す内容を整理する。 p.39</p> <p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手の反応を確かめながらやり取りをする。 <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ後、言葉を選んで書き写す。 	<p>◎ (話すこと [発] ウ)</p> <p>身近で簡単な事柄について、話す内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。〈行動観察・誌面分析〉</p>
7	<p>◆他者に配慮しながら、ある人物についてできることやできないことを、自分の考えも含めて紹介しようとする。</p> <p>○Classroom English practice</p> <p>【Let's Chant】 He can run first. She can sing well. p.35</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>先生のできることを撮影しよう①</p> </div> <p>【Activity 5】グループで、インタビュー結果をもとに先生ができることを、自分のことも含めて伝え合いアドバイスし合う。</p>	<p>◎ (話すこと [発] ウ)</p> <p>身近で簡単な事柄について、話</p>

	<p>p.40</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ipad で撮影し、自分の発表の様子を確認するようにする。 <p>【STORY TIME】① 読み聞かせを聞いて、話の概要を理解する。 p.41</p>	<p>す内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。〈行動観察・誌面分析〉</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> ◆他者に配慮しながら、ある人物についてできることやできないことを、自分の考えも含めて紹介しようとする。 ◆アルファベットの文字の読み方には、名称のほかに音があることに気付く。 <p>○Classroom English practice</p> <p>【Let's Chant】 He can run first. She can sing well. p.35</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">先生のできることを撮影しよう②</div> <p>【Activity 5】グループで、インタビュー結果をもとに先生ができることを、自分のことも含めて伝え合いアドバイスし合う。</p> <p>p.40</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ipad で撮影し、自分の発表の様子を確認するようにする。 <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声について読む（発音する）。 ・例文を参考に、ワークシートに書く。 <p>【STORY TIME】②デジタル教材を視聴して、音声について読む。 p.41</p>	<p>◎（話すこと〔発〕ウ）</p> <p>身近で簡単な事柄について、話す内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。</p> <p>◎（書くこと ア）</p> <p>大文字、小文字を活字体で書いている。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写している。 〈誌面分析〉</p>

6. 本時の指導

Unit 5 - Lesson 5	単元名	最高学年に向けて, 附属小学校のことをもっと知ろう【先生編】	5 / 8時間
本時のねらい	第3者について, 先生の写真を見て he か she か考えたり, he/she を使った表現を聞いて誰のことか考えたりすることを通して, できることを聞き取ることができる。		
準備	デジタル教材	各先生の顔写真	各児童の顔写真 掲示用キーセンテンス できることカード ワークシート 振り返りシート
(評価規準)	第3者について, できることを聞き取っている。		(聞くこと イ)

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
3分	<p>Greetings</p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p>Warming up</p> <p>○Classroom English practice</p>	<ul style="list-style-type: none"> めあてにつながるように, 気分を尋ね合う際, he/she を含んだ表現を使うようにする。 	デジタル教材
2分	<p>Activities</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <p>「Mr./Ms.○○」とくり返さなくてすむ言い方で先生を紹介してみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時に「Mr.○○」と繰り返すと長くて言いにくいこと, he/she を使うとよいのではという考えが出されたことを確認し, めあてを位置付ける。 	
6分	<p>【Let's Watch and Think 2】後半 : Let's Watch and Think 2 の後半を視聴し, 第3者の紹介の仕方を知る。p.38</p>	<ul style="list-style-type: none"> 映像資料のさとしの話を聞いてわかったことをワークシートに書くように指示する。 書いたことをペアで確認させた後, 書いたことを「John is from ...?」「He can ...? She can't ...?」とやりとりしながら確認する。 he/she が使われていたこと, he/she を使うと人を紹介できそうだとすることを確認する。 	デジタル教材 ワークシート
10分	<p>○Activities</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を聞いたり, 質問に答えたりして, he, she の使い方を理解するとともに, I, you との違いを理解する。 <p>This is Mr.○○. He can play golf well.</p> <p>T : This is Mr.□□. He or she? C : He. T : That's right.(右に貼る)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 元附属小の先生のできることについて紹介する。紹介しながら, 4名の先生の写真を男性は右側, 女性は左側に分けて貼っていく。 男性と女性では言い方に違うことに気付いている様子を見取り, 新たに2人の先生の写真を見せながら, he か she か問いかけ, he と she の違いが分かるようにする。 	各先生の顔写真

	<p>[予想される子どもの反応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ he は男, she は女 <p>T: (先生の写真を示しながら) He can play golf well. Can you play golf? C: No, I can't. T: You can't play golf. He can play golf.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ he は男性, she は女性を表すことを確認する。 ・ 黒板に貼られた先生ができることについて児童にできるか尋ね, I, you, he, she の違いを理解することができるようにする。 	
4分	<p>○Activities</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの児童が he か she か全体やグループで考える。 <p>T: Your pair, he or she? C: He. T: Your group, he or she? C: He, he, she, she.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数人の児童に席の隣の児童が he か she か尋ねた後, ペアで he か she か声に出して言うようにする。 ・ 数人の児童に班の児童が he か she か尋ねた後, 班で he か she か声に出して言うようにする。 	
6分	<p>○Who is he? Who is she?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者による He / She を使った人物紹介を聞き, それが誰かを当てる。 <p>① 2人の児童 (男女1人ずつ)</p> <p>He can play the piano well. He can play the recorder. He can swim well. Who is he?</p> <p>② 3人児童 (男子2, 女子1) ③ 4人の先生 (男性2, 女性2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級の児童や校内の先生を取り上げ, できることやできないことなどを he/she を使って児童に聞かせ, 誰のことかを考え答えるようにする。 <p>[困りを抱える児童への支援]</p> <p>聞き取れずに困っている児童に対して, 再度問題をゆっくりとした声の速さで伝えるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 答え合わせの際に, 再度 he/she を使ってできることやできないことを話し, 教師の後ろにつけて繰り返し発話することで he/she を使った表現に慣れ親しむようにする。 <p>◎第3者について, できることを聞き取っている。 (行動観察・紙面分析)</p>	各児童の顔写真 各先生の顔写真 できることカード
8分	<p>○Activities</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先生にインタビューした結果をもとに, 先生のできることを he や she を使って班の友達へ紹介してみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生へのインタビュー結果の中から, can を使った文を1つ選んで伝えるようにする。 ・ 先生ができることが伝わったかどうか聞き手に確認するようにする。 	掲示用キーセン テンス できることカード

	<p>[期待する既習表現]</p> <ul style="list-style-type: none"> • He/She is (great). • I can/can't (play golf). 		
5分	<p>Comments</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の振り返りをする。 ○HRT のコメントを聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> • 先生や友達のできることを聞き取っていた児童を紹介し称賛する。 • 先生のことを伝えられそうか問い、「もっと言いたい」「もっとこんな表現を使いたい」など、次時への見通しをもつようにする。 	振り返りシート
1分	<p>Greetings</p> <ul style="list-style-type: none"> ○おわりのあいさつをする。 		

外国語指導案

学習者 モ① 附属小学校5年2組 33名

指導者 モ① 山本 智博

単元名 最高学年に向けて、附属小学校のことをもっと知ろう【先生編】
 (教材 5年—Unit 5 She can run fast. He can jump high. できること)

Unit 5 - Lesson 4 単元名 最高学年に向けて、附属小学校のことをもっと知ろう【先生編】 4/8時間
 本時のねらい 友だちのできることについて、答えの聞き方の工夫を話し合ったり、意図を考えたり
 することを通して、内容を確認しながら具体的な情報を聞き取ることができる。
 準備 デジタル教材 掲示用キーセンテンス できることカード 振り返りシート
 (評価規準) 友だちのできることについて、内容を確認しながら具体的な情報を聞き取っている。
 (聞くこと イ)

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
4分	<p>Greetings ○はじめのあいさつをする。</p> <p>Warming up ○Classroom English practice 【Let's Chant】 Can you sing well? P.35</p>		デジタル教材
2分	<p>Activities</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 先生へのインタビューに向けて相手 のできることを聞き取ろう </div> <p>○本時のめあてについて知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習や学習計画をもとに、本時の活動について問い、めあてを位置付ける。 	振り返りシート
9分	<p>【Let's Watch and Think2】 前半：映像を視聴して、誌面に○や△を書いたり、指導者の質問に答えたりする。 p.38</p>	<ul style="list-style-type: none"> 映像資料の John と Christina の会話から、できることやできないことを尋ねたり答えたりするのを視聴し、具体的な情報を聞き取り、○や△をつけさせる。 	デジタル教材 振り返りシート
15分 本時 モ①	<p>○Activity</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達と、あることについてできるかどうかを尋ね合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> Can you ~ ? Yes I can. / No I can't. What can you do? I can ~. </div>	<ul style="list-style-type: none"> 室内を歩いて回り、できることカードに描かれていることについて、できるかどうかを友達に尋ね、できる場合は、イラスト下に名前を書かせる。 途中 Half Time・Half time に、答えの聞き方の工夫や、その意図を考えさせ、より相手に伝わりやすいやりとりはどのようなものかを考えさせ 	できることカード

	<p>[予想される子どもの反応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 答えを聞き返す ・ 答えを繰り返す ・ 答えを抑えながら 	<p>る。</p> <p>◎友だちのできることについて、内容を確かめながら具体的な情報を聞き取っている。</p> <p>〈行動観察・誌面分析〉</p>	
9分	<p>○Activity</p> <p>チームの先生へインタビューする内容を考える。</p> <p>A : Can you ~?</p> <p>B : Yes I can. / No I can't.</p>	<p>・ できることカードを見ながらチームの先生ができることできないことを予想し、質問の練習をするようにする。</p>	
5分	<p>○本時のふりかえりをする。</p> <p>○HRT のコメントを聞く。</p>	<p>・ 友だちのできることについて、内容を確かめながら具体的な情報を聞き取っている児童を称賛する。</p>	振り返りシート
1分	<p>Greetings</p> <p>○おわりのあいさつをする。</p>		

外国語科学習指導案

学習者 モ② 附属小学校5年1組 35名

指導者 モ② 永井 徳俊

単元名 最高学年に向けて、附属小学校のことをもっと知ろう【先生編】

(教材 5年Unit5 She can run fast. He can jump high. できること)

Unit 5 - Lesson 6	単元名 最高学年に向けて、附属小学校のことをもっと知ろう【先生編】 6/8時間 本時のねらい 第3者について、聞き手にどんな反応をしてほしいかを話し合っ明確にしたり、反応を確かめながらやり取りしたりすることを通して、内容を整理して話すことができる。 準備 デジタル教材 各先生の顔写真 掲示用センテンス できることカード 振り返りシート (評価規準) 第3者について、内容を整理しながら話している。 (話すこと〔発〕 ウ)
-------------------	--

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<p>Greetings</p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p>Warming up</p> <p>○Classroom English Practice をする。</p> <p>【Let's Chant】: He can run fast. She can sing well. P.35</p>		デジタル教材
5分	<p>○学習計画を振り返り、単元を通した目標について確認し、本時のめあてについて知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 先生を紹介するために何を伝えるか考えよう </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に先生のできることを紹介する文章を1つ作ったことを振り返りながら、先生にインタビューしたことについても想起させ、複数ある回答の中から何を伝えるべきか決めていく必要があることを確認する。 	
5分	<p>Activities</p> <p>【Activity 4】: 聞き手の反応を想定し、話す内容を整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を選択していくために、聞き手がどんな反応をしてくれば目的を達成したといえるのか、ゴールの姿を話し合い明確にする。 ・インタビュー結果をもとに、何について話すのか内容を整理し、発表の 	振り返りシート

		準備をする。	
15分 本時モ②	<p>○Let's Talk (前半) : 聞き手の反応を確かめながらやり取りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>[予想される子どもの反応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今のままでは驚いてもらえなかったから、発表の内容を変えよう。 ・このままでは「へえー!」と言ってもらえないから、話し方を変えよう。 ・もっと驚いてもらえるような内容にすべきだから、もう一度インタビューに行く必要があるかも。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の紹介をし合う。その際、相手にどんな感想をもったか尋ね合うことで、目標に迫る発表になっているか確かめることができるようにする。 ・Half Time を設け、自分の発表の内容がこのままでよいか、これまでの交流での友だちの反応をもとに振り返らせ、内容を整理し直す。また、後半戦に向けて発表の練習をする。 <p>◎第3者について、内容を整理しながら話している。(行動観察・紙面分析)</p>	<p>掲示用センテンス 各先生の顔写真</p>
5分	○Let's Talk (後半)	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の反応を確かめながら、先生の紹介をし合う。 	
5分	<p>○Let's Read and Write : 音声を聞きながら読んだ後、言葉を選んで書き写す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>書く文例 : He can (cook).</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に配布しているワードボックスを参考にしながら、センテンスに言葉を当てはめて書き写すようにする。 	<p>振り返りシート</p>
5分	<p>Comments</p> <p>○本時の振り返りをする。</p> <p>○HRT のコメントを聞く。</p> <p>Greetings</p> <p>○おわりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・反応を確かめながらやり取りし、内容を整理している児童を紹介し称賛する。 	<p>振り返りシート</p>

外国語科学習指導案

学習者 附属小学校6年1組 33名
指導者 甲斐 義一

単元名 今思い描く将来の夢を、卒業アルバムに残そう
(教材 6年—Unit8 What do you want to be? 将来の夢・職業)

1. 単元の目標

- 将来就きたい職業などについて、聞いたり言ったりすることができる。 (知識及び技能)
- 将来就きたい職業やしたいこと、その理由などを伝え合う。また、将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に語と語の区切りに注意しながら書いたりする。 (思考力、判断力、表現力等)
- 他者に配慮しながら、将来の夢について伝え合おうとする。 (学びに向う力、人間性等)

2. 単元について

必然性	自分の夢とその理由を英語で話す様子を撮影し、卒業アルバムにDVDとして残すDVDにオリジナルチャプターを作り、構成を工夫する
リアル感	思い出のDVDづくりのために、自分の夢とその理由を伝えるためのキーセンテンスとコミュニケーション
楽しさ	オリジナルチャプターを作り構成を工夫するために、自分と友だちの夢の共通点や相違点を見つける楽しさ
相手意識	将来の夢について話す友だちを尊重し、質問をしたり反応を返したりしながら聞こうとする意識 将来の夢について話す映像を視聴した時に、しっかりと思いが伝わるように話そうとする意識

3. 言語材料 (下線は新出表現)

○ What do you want to be? I like (animals). I want to be a (vet). I can (play the piano well). I am good at (playing the piano). That's (good). Good luck.

○ be, luck, future, 職業 (artist, astronaut, baker, bus driver, comedian, dentist, farmer, figure skater, flight attendant, pianist, pilot, singer, train conductor, zookeeper), chalk

[既出] 職業, 動作, 動詞の過去形 (went, ate, saw, enjoyed, was), スポーツ, 動物, 飲食物, 状態・気持ち, 身の回りの物, 教科

4. 該当する学習指導要領における領域別目標と、本校における Challenge・Can-Do リストとの関連

聞くこと	学習指導要領 【CS】	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。
	Can-Do リスト 【CL】	初歩的な語彙や基本的な表現による自己紹介や行ってみたい国、世界で活躍する日本人などの話を聞いて、短い話の概要を聞き取ることができる。
読むこと	学習指導要領 【CS】	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味を理解できるようにする。
	Can-Do リスト 【CL】	挨拶や好みをたずねる表現など、これまで音声で十分に 慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味を理解できる。
話すこと【あ】	学習指導要領 【CS】	ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。
	Can-Do リスト 【CL】	誕生日やできること、夏休みの思い出や将来の夢などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。
話すこと【発】	学習指導要領 【CS】	イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
	Can-Do リスト 【CL】	誕生日やできること、夏休みの思い出や将来の夢について、話す順番を決めたり、内容を選択したりしながら、状況に応じて声の大きさや速さを変えて話すことができる。
書くこと	学習指導要領 【CS】	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。
	Can-Do リスト 【CL】	語と語の区切りに気をつけたり、日本語の語順と比べたりしながら、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現をなぞったり、書き写したりすることができる。

5. 単元計画（8時間）

時	目標（◆）と主な活動（【 】, ○) 【 ｝=誌面化されている活動	◎評価の観点（評価規準）〈方法〉
1	<p>◆職業を表す語を聞いて分かる。</p> <p>○Classroom English Practice</p> <p>○Small Talk：小学校生活の思い出</p> <p>○単元を通した目標について知る。</p> <p>今思い描く将来の夢を、卒業アルバムに残そう</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <p>職業を表す言い方を知ろう</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p. 58, 59 誌面を見て、知っている職業名を発表し、職業の言い方を知る。</p> <p>○Repeating：将来の夢とその理由を伝えるための英語表現を繰り返し発話し、慣れ親しむ。</p> <p>【Let's Play】 Pointing Game p. 58, 59 指導者が言う職業を聞</p>	<p>◎（聞くこと イ）</p> <p>ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。</p>

	<p>いて、誌面にある職業の絵をペアでさし示す。指導者のヒントを聞いて、それがどんな職業かを言う。</p> <p>○Reflection：職業を表す英語表現を書き写す。</p>	<p>〈行動分析・誌面分析〉</p>
<p>家庭学習で自分が将来つきたい職業を選ばせておく。</p>		
2	<p>◆職業についてまとまった話を聞いて理解したり、就きたい職業を言ったりすることができる。</p> <p>○Classroom English Practice</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <p>将来つきたい職業の伝え方を知ろう</p> <p>【Let's Chant】What do you want to be? p. 58</p> <p>○Let's Listen：教師の夢についての話や、モデル映像で話される夢についての発表を聞き、質問に答える。</p> <p>○Let's Talk：となりの友だちとなりたい職業を伝え合う。</p> <p>○Reflection：就きたい職業を書き写す。</p>	<p>◎（聞くこと イ）</p> <p>ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。</p> <p>〈行動分析・誌面分析〉</p>
3	<p>◆得意なこと・できること、不得意なこと・できないことについて、伝え合う。</p> <p>○Classroom English Practice</p> <p>○Small Talk：好きな教科とその理由</p> <p>【Let's Chant】What do you want to be? p. 58</p> <p>【Let's Watch and Think 3】p. 60 映像を視聴して分かったことを誌面の表に記入する。</p> <p>【Let's Listen】p. 61 音声を聞いて、誰がどんな夢をもっているかを、理由とともに聞き取り、分かったことを誌面表に記入する。</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <p>将来つきたい職業の理由の伝え方を知ろう</p> <p>○Repeating：なりたい職業を伝えるための英語表現を繰り返し発話し、慣れ親しむ。</p> <p>○Let's Talk：となりの友だちとなりたい職業とその理由を伝え合う。</p> <p>○Reflection：就きたい職業の理由を書き写す。</p>	<p>◎（話すこと [や] ウ）</p> <p>自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。</p> <p>〈行動分析・誌面分析〉</p>
4	<p>◆将来の夢についての話を聞いて、就きたい職業やその理由が分かる。</p> <p>◆就きたい職業とその理由について伝え合う。</p> <p>○Classroom English Practice</p> <p>○Small Talk：家族や親戚の職業</p> <p>【Let's Chant】What do you want to be? p. 58</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <p>オリジナルチャプターづくりのために友だちの夢とその理由をたずねよう</p> <p>○Repeating：将来の夢とその理由を伝えるための英語表現を繰り返し発話し、慣れ親しむ。</p>	<p>◎（聞くこと イ）</p> <p>ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。</p> <p>〈行動分析・誌面分析〉</p> <p>◎（話すこと [や] ウ）</p> <p>自分や相手のこと及び身の回り</p>

	<p>○Let's Talk : 将来の夢とその理由について伝え合う。</p> <p>○Reflection : 振り返りシートに交流で広がった夢の理由をメモする。</p>	<p>の物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。</p> <p>〈行動分析・誌面分析〉</p>
5	<p>◆例を参考にして、自分の夢について書く。</p> <p>○Classroom English Practice</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <p>将来の夢についての原稿を書こう</p> <p>【Let's Read and Write 1】 p. 62</p> <p>誌面に書かれた Riko のスピーチ原稿を、音声が続いて読みながら英語を表記するときのルールについて話し合う。</p> <p>○大文字と小文字に気を付けているか、スペースに気を付けているかなどに注意しながらスピーチ原稿を書く。</p> <p>○Sounds and Letters : (th)</p>	<p>◎ (書くこと イ)</p> <p>自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。</p> <p>〈行動分析・誌面分析〉</p>
6	<p>◆将来の夢について書かれた原稿を読み、内容が分かる。</p> <p>○Classroom English Practice</p> <p>【STORY TIME】 p. 65 デジタル教材からライム (押韻) の単語とそれらが含まれる文を 2~3 回 聞く。音声の後に続いて言う。</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <p>将来の夢についての原稿を読み合おう</p> <p>○Let's Read : 指導者から配布されたクラスの中の誰かのスピーチ原稿を読み、本人だと思ふ人へ戻す。内容について、コメントやアドバイスを書く。</p> <p>○Reflection : アドバイスをもとに変更する文をメモする。</p>	<p>◎ (読むこと イ)</p> <p>音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味を理解できるようにする。</p> <p>〈行動分析・誌面分析〉</p>
7	<p>◆例文などをもとに、語と語の間隔や大文字と小文字の使い分け、符号などに注意しながら、自分の将来の夢について、理由を含めて書く。</p> <p>◆例文などをもとに、自分の将来の夢について、理由を含めて書こうとする。</p> <p>○Classroom English Practice</p> <p>○Let's Talk : 前時に書いたトーク原稿を読む。</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <p>将来の夢についての原稿を清書しよう</p> <p>○Let's Write : トーク原稿を清書する。</p>	<p>◎ (書くこと イ)</p> <p>自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。</p> <p>〈行動分析・誌面分析〉</p>
8	<p>◆就きたい職業について、理由を含め伝え合う。</p> <p>◆就きたい職業について、理由を含め伝え合おうとする。</p> <p>○Classroom English Practice</p>	<p>◎ (話すこと [発] イ)</p>

<p>○Small Talk: 将来の夢とその理由 【Let's Chant】What do you want to be? p. 58</p> <p>○本時のめあてについて知る。 <u>撮影のリハーサルをしよう</u></p> <p>○Let's Talk: 発表役とアドバイス役に分かれ、交流する。 ○Reflection: 撮影で気をつける伝え方のポイントを書く。</p>	<p>自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的表現を用いて話すことができるようにする。 〈行動分析・誌面分析〉</p>
--	--

6. 本時の指導

Unit 8 - Lesson 3	単元名 What do you want to be? 将来の夢・職業	3 / 8 時間
本時のねらい	自分の得意なことやできることについて、「思い出 DVD」作成のために簡単な語句や基本的な表現を繰り返し発話したり友だちと交流したりすることを通して、質問したり答えたりして伝え合うことができる。	
準備	モデル映像 「日本文化の紹介」DVD ・絵カード デジタル教材 振り返りシート	
(評価規準)	自分の得意なことやできることについて、質問したり答えたりして伝え合っている。	

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
5分	<p><u>Greetings</u></p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p><u>Warming up</u></p> <p>○Classroom English Practice をする。 ○Small Talk: 好きな教科とその理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・反応やアイコンタクト、はっきりと発話することを意識している児童を称賛する。 ・まず教師が発話し、活動の見通しを持てるようにする。 ・事前に「英語で言いたいけど言えなかった言葉を見つける」という視点を持たせ、交流させる。 	
3分	<p>【Let's Chant】What do you want to be? p. 58</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音声の後についてリズムカルに言わせる。 ・全ての歌詞を言うことは難しいことから、一部分のみを言わせるようにする。 	
7分	<p><u>Activities</u></p> <p>【Let's Watch and Think 3】p. 60 映像を視聴して分かったことを誌面の表に記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめに、誌面にある絵や写真をもとに二人の出身国や夢を予想させることで、視点を持って視聴させる。 <p>◎ (聞くこと イ)</p> <p>ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。</p> <p>〈行動分析・誌面分析〉</p>	デジタル教材

10分	<p>【Let's Listen】 p. 61 音声を聞いて、誰がどんな夢をもっているかを、理由とともに聞き取り、分かったことを誌面表に記入する。</p> <p>○デジタル教材を視聴し、キーセンテンスを確認する。</p>	<p>・デジタル教材を視聴し、登場人物が将来の夢の理由について I like (animals). I am good at (playing the piano). I can (play the piano well). を使って表現していることを確認し、将来の夢の理由を伝えるためのキーセンテンスを確認する。</p>	
5分	<p>○本時のめあてについて知る</p> <p>将来つきたい職業の理由の伝え方を 知ろう</p> <p>○デモを見てコミュニケーションの流れを確認する。</p>	<p>・これまでの活動を振り返り、本時の活動について問いながら、めあてを位置付ける。</p> <p>・HRTとALTによるデモを見せ、コミュニケーションの流れを確認させる。</p>	絵カード モデル原稿
2分	<p>○Repeating: なりたい職業を伝えるための英語表現を繰り返し発話し、慣れ親しむ。</p>	<p>・キーセンテンスと英単語を繰り返し発話させ、十分に慣れ親しませる。</p> <p>・はっきりとした声で HRT の後に続けて発話するようにする。</p>	絵カード
7分	<p>○Let's Talk: となりの友だちと、就きたい職業とその理由について伝え合う。</p> <p>【期待する既習表現】 Wow! Great! I see, Really? Pardon? That's good! Good luck!</p>	<p>・将来の夢について話す友だちを尊重するために、反応を返したり頷いたりしながら聞いている児童を価値づける、</p> <p>◎ (話すこと [や] ウ) 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。</p> <p>〈行動分析・誌面分析〉</p>	
5分	<p>Comments</p> <p>○本時の振り返りをする。</p> <p>○HRT・ALT のコメントを聞く。</p>	<p>・振り返りシートに就きたい職業の理由を書き写させる。</p>	振り返りシート
1分	<p>Greetings</p> <p>○おわりのあいさつをする。</p>		

Unit 8 - Lesson 4	単元名	What do you want to be?	将来の夢・職業	4 / 8 時間
本時のねらい	将来就きたい職業とその理由について、DVD のチャプターづくりのために簡単な語句や基本的な表現を繰り返し発話したり友だちと交流したりすることを通して、質問したり答えたりして伝え合うことができる。			
準備 (評価規準)	デモデル映像 「日本文化の紹介」 DVD	絵カード	デジタル教材	振り返りシート
	将来就きたい職業とその理由について、質問したり答えたりして伝え合っている。 (話すこと [や] ウ)			

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
8分	<p>Greetings ○はじめのあいさつをする。</p> <p>Warming up ○Classroom English Practice をする。 ○Small Talk : 家族や親戚の仕事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・反応やアイコンタクト, はっきりと発話することを意識している児童を称賛する。 ・まず教師が発表し, 活動の見通しを持てるようにする。 ・事前に「英語で言いたいけど言えなかった言葉を見つける」という視点を持たせ, 交流させる。 	
2分	<p>[Let' s Chant] What do you want to be? p. 58</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音声の後についてリズムカルに言わせる。 ・全ての歌詞を言うことは難しいことから, 一部分のみを言わせるようにする。 	
5分	<p>Activities ○本時のめあてについて知る。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">オリジナルチャプターづくりのために 友だちの夢とその理由をたずねよう</p> <p>○デモを見てコミュニケーションの流れを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習の振り返りをさせ, 本時のめあてを提示する。 ・教師と ALT がデモンストレーションを提示し, 流れを確認させる。 	
5分	<p>○Repeating : 将来の夢とその理由を伝えるための英語表現を繰り返し発話し, 慣れ親しむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キーセンテンスと英単語を繰り返し発話させ, 十分に慣れ親しませる。 ・はっきりとした声で HRT の後に続けて発話するようにする。 	
15分	<p>○Let' s Talk : 将来の夢とその理由について伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室内を自由に移動し, ペアを作って話させる。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">【期待する既習表現】 I like ~. This is ~. My mother is ~. I' m good at ~. I can ~.</p> <p>○half time で取り上げられた児童の姿を参考に, 自分のやり取りの仕方を見直す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師モデルとデモを想起させ, 「同じ夢」が付きたい職業が同じというだけでなく理由が同じであることも含まれることを確認し, 理由も含めて掘り下げて聞くことを伝える。 ・途中で一旦止め, 友だちの付きたい職業とその理由を聞いてすごいと思ったことや気づいたことなどを発表させる。 ・英語での質問の仕方や, 質問への答え方がわからなかったことを出し合わせ, 考えさせる。 <p>◎ (話すこと [や] ウ)</p> <p>自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について, 簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質</p>	発表用ボード

		問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。 (行動分析・誌面分析)	
5分	Comments ○本時の振り返りをする。 ○HRT・ALTのコメントを聞く。	・将来の夢とその理由を表す英語表現を可能な範囲でワークシートに書かせる。	振り返りシート
1分	Greetings ○おわりのあいさつをする。		

Unit 8 - Lesson 5 単元名 What do you want to be? 将来の夢・職業 5 / 8時間

本時のねらい 将来就きたい職業とその理由について、これまでに書いた文を振り返ったりすることを通して、例文を参考に、音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。

準 備 デジタル教材 絵カード 振り返りシート

(評価規準) 将来就きたい職業とその理由について、例文を参考に、音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書いている。 (書くこと イ)

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価 (方法)	準備物
5分	Greetings ○はじめのあいさつをする。 Warming up ○Classroom English Practiceをする。 ○Small Talk: 将来の夢とその理由	・反応やアイコンタクト、はっきりと発話することを意識している児童を称賛する。 ・書く活動に繋げさせるために前時交流した夢とその理由を想起させる。 ・事前に「英語で言いたいけど言えなかった言葉を見つける」という視点を持たせ、交流させる。	
5分	○デモを見てコミュニケーションの流れを確認する。 ○本時のめあてについて知る。 将来の夢についての原稿を書こう	・教師によるデモ映像を視聴させ、撮影に向けてトーク原稿を書くことを伝えた上で、めあてを位置付ける。	絵カード
10分	【Let's Read and Write 1】 p. 62 【予想される児童の反応】 文の書き始めは大文字を使う 単語と単語の間はスペースを開ける	・誌面に書かれたRikoのスピーチ原稿を、音声が続いて読ませる。 ・スピーチ原稿を使って、英語を表記するときのルールをペアで話し合わせる。 ・大文字と小文字に気を付けることや、スペースを開けることを押さえる。	デジタル教材

15分	○自分の将来就きたい職業とその理由について、基本的な表現を使って書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・書き方のルールをふり返らせる。 ・自分の就きたい職業と理由の優先順位を確認させる。 ・書き方のルールに注意してスピーチ原稿を書かせる。 ・難しい表現や分からない表現に付箋を貼り、次に繋げるようにする。 <p>◎（書くこと イ） 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。</p>	デジタル教材
		〈行動分析・誌面分析〉	
5分	○Sounds and Letters : thで始まる単語を出し合い、その音の文字を書く。	・テンポよく音声をリピート再生し、音声に十分慣れ親しむようにする。	ワークシート
4分	<p>Comments</p> <p>○本時の振り返りをする。</p> <p>○HRT・ALTのコメントを聞く。</p>	・大文字と小文字の違いや、スペースに気を付けている児童を価値づける	振り返りシート
1分	<p>Greetings</p> <p>○おわりのあいさつをする。</p>		